

令和6年度病床機能報告結果（圏域別）

東京都保健医療局医療政策部

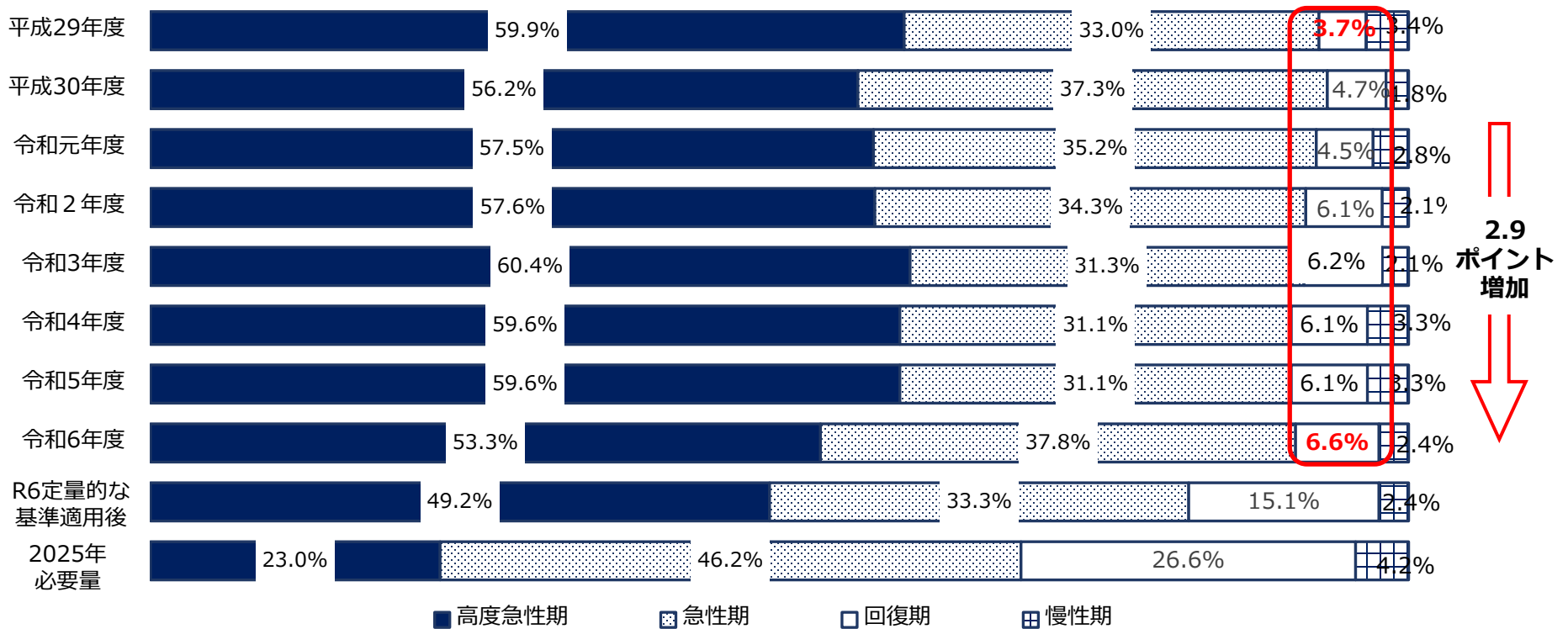
目次

区中央部	2
区南部	5
区西南部	8
区西部	11
区西北部	14
区東北部	17
区東部	20
西多摩	23
南多摩	26
北多摩西部	29
北多摩南部	32
北多摩北部	35

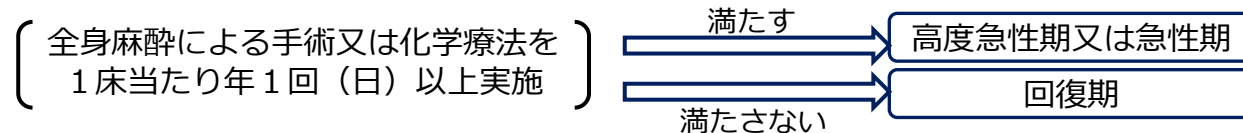
【区中央部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 2.9 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

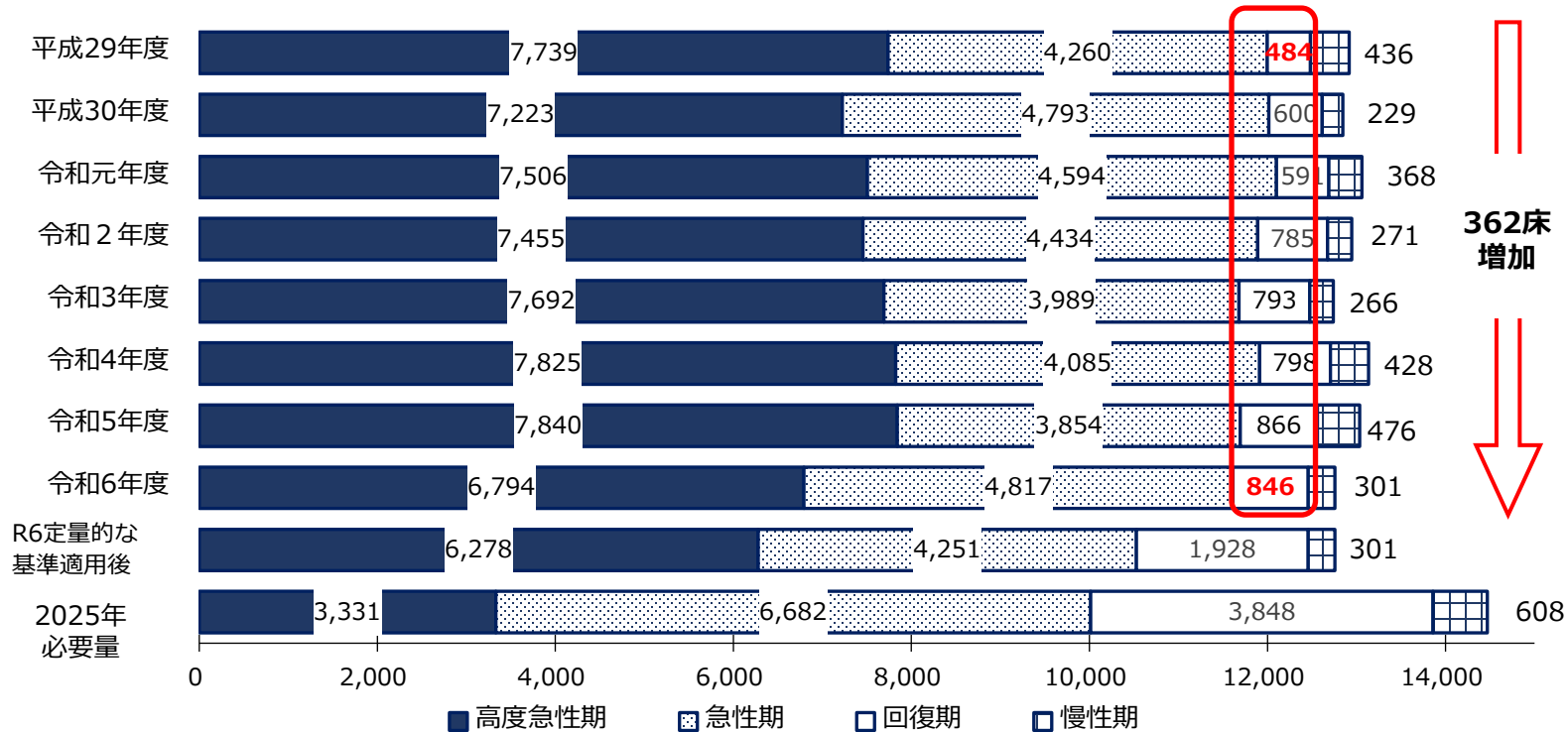


（出所）病床機能報告より作成

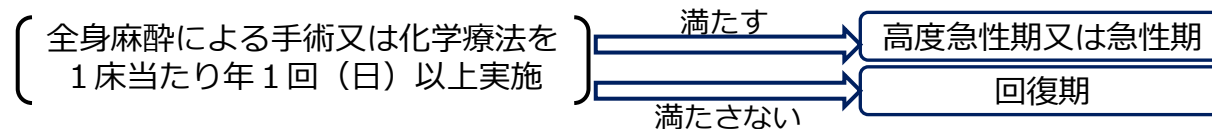
【区中央部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では362床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



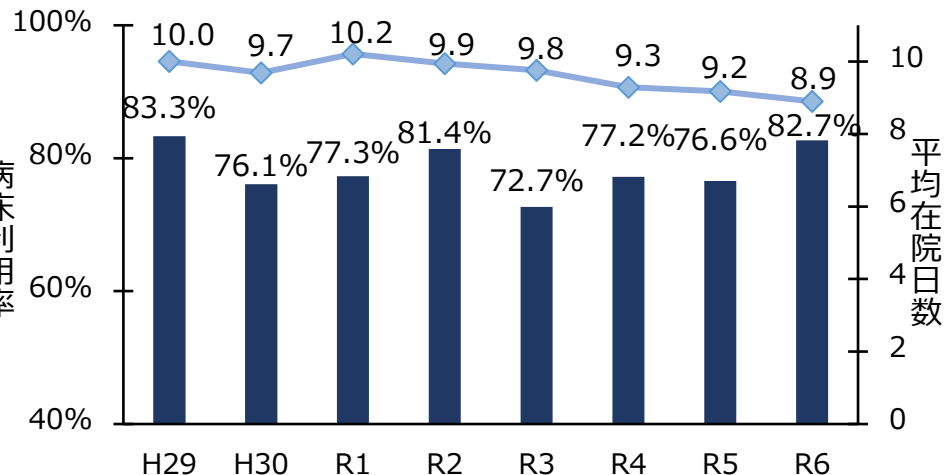
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



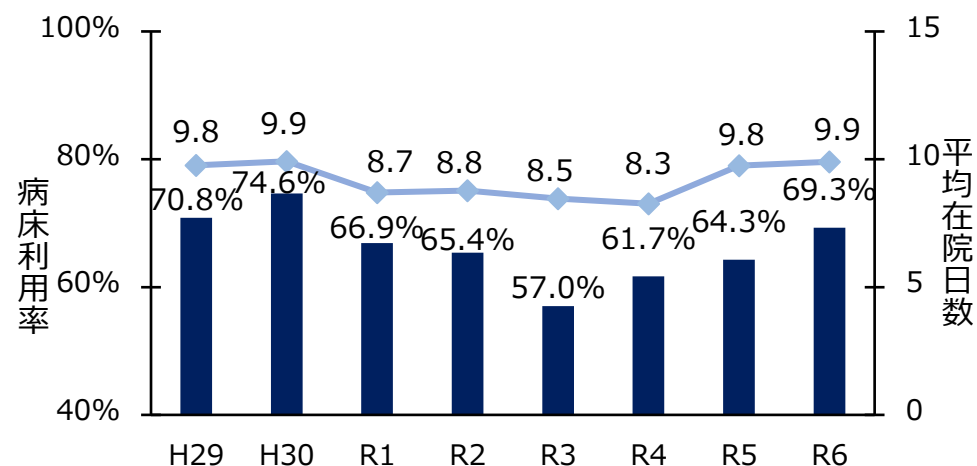
（出所）病床機能報告より作成

【区中央部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

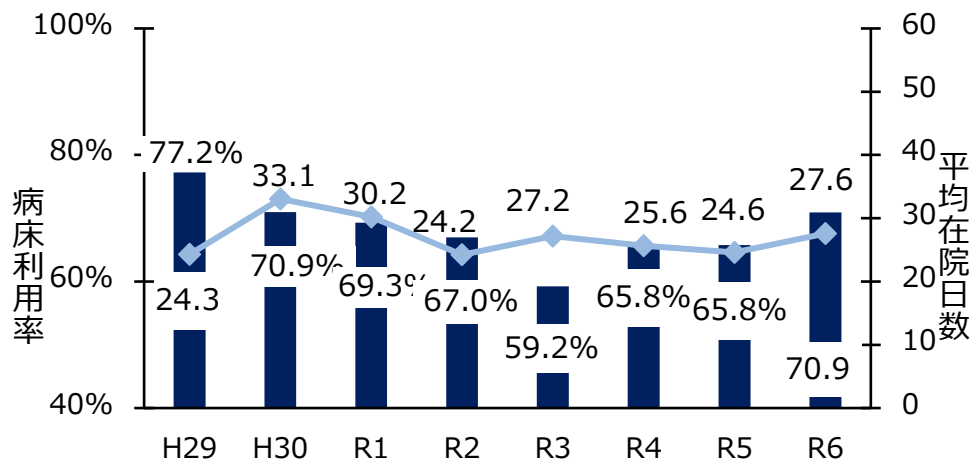
高度急性期



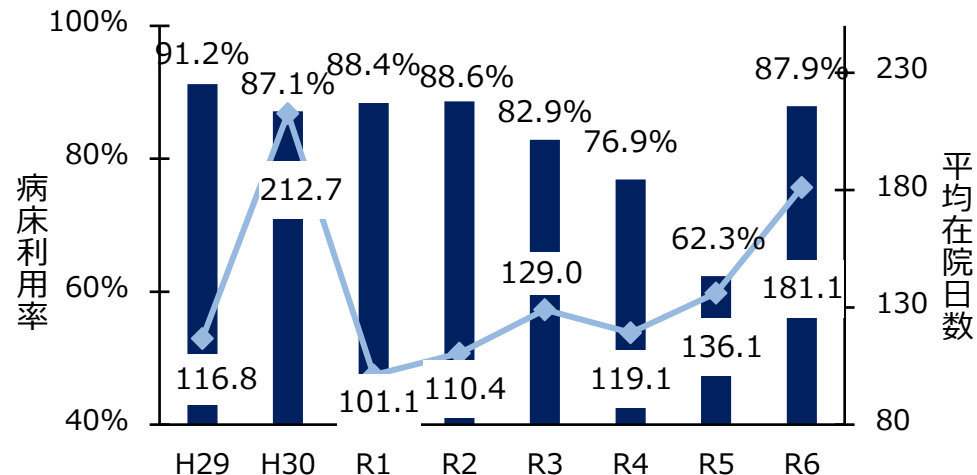
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

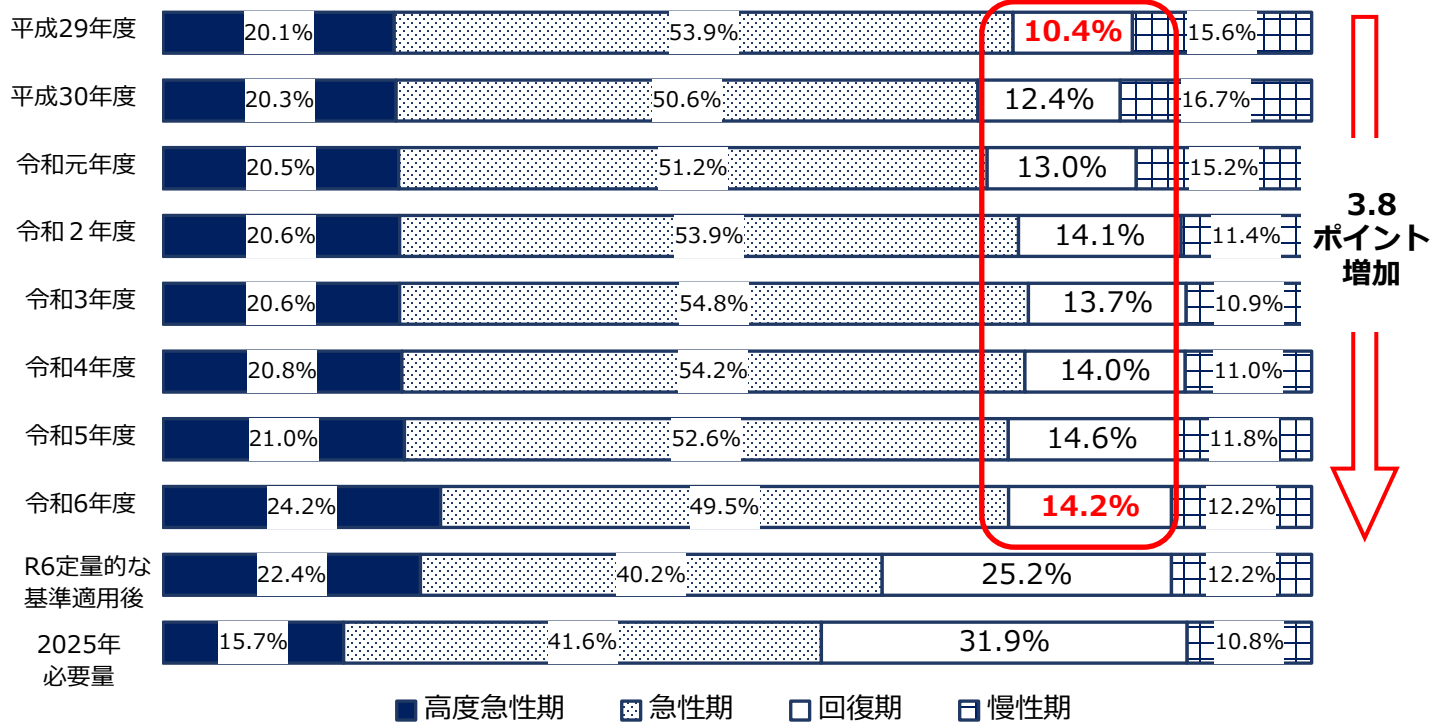
平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率
 ◆ 平均在院日数（右軸）
 （出所）病床機能報告より作成

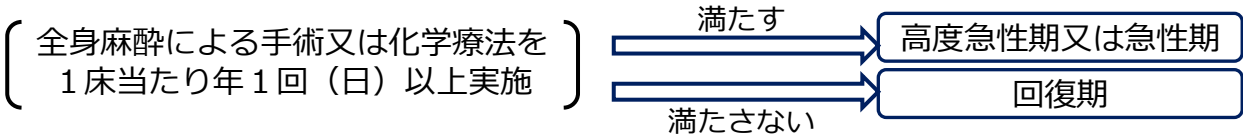
【区南部】機能別病床数の状況①

・回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 3.8ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

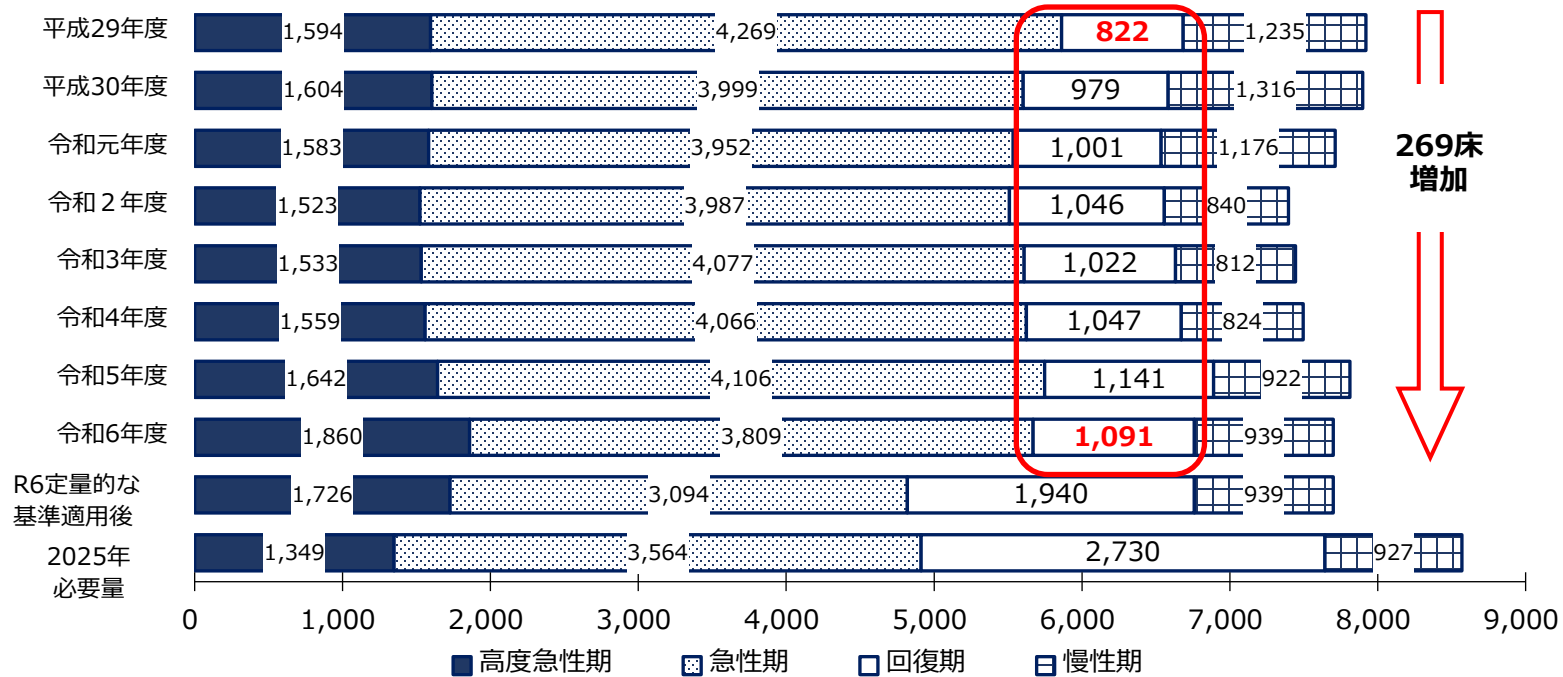


（出所）病床機能報告より作成

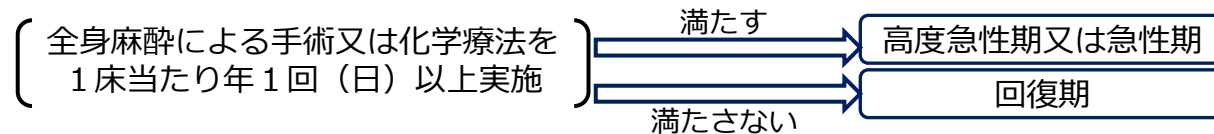
【区南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 269床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



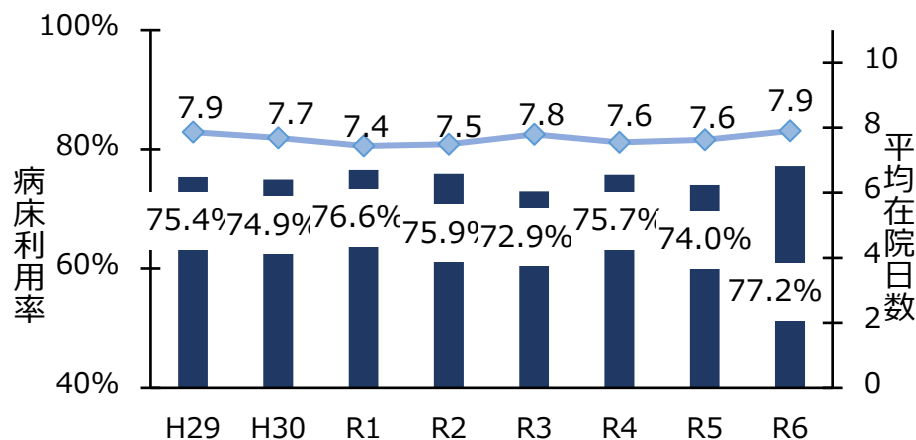
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



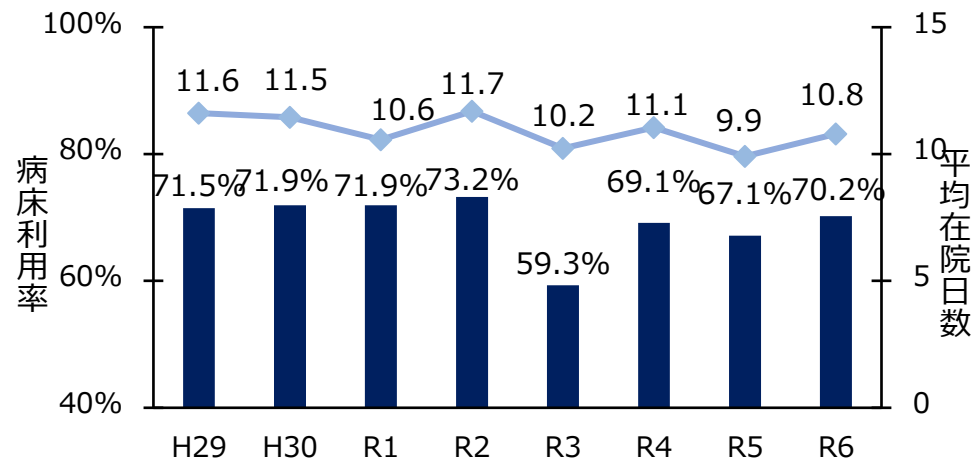
（出所）病床機能報告より作成

【区南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

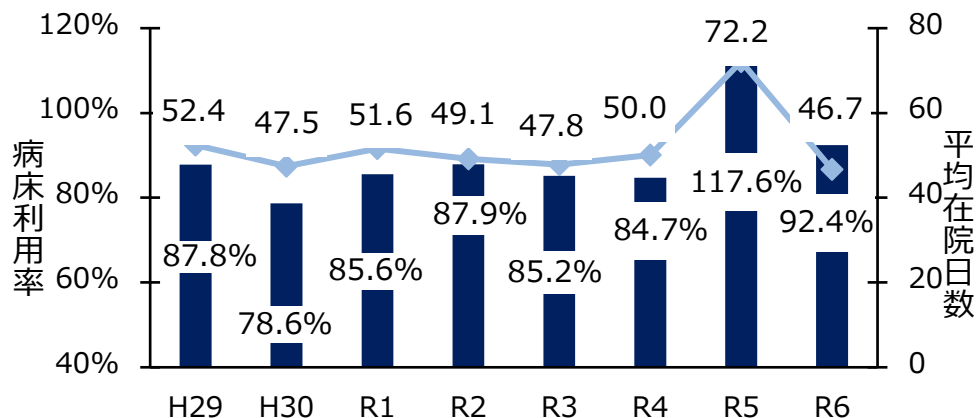
高度急性期



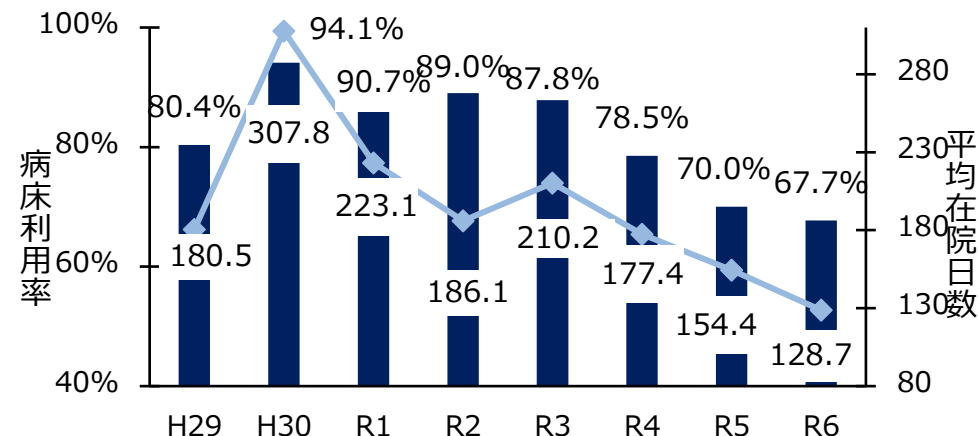
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

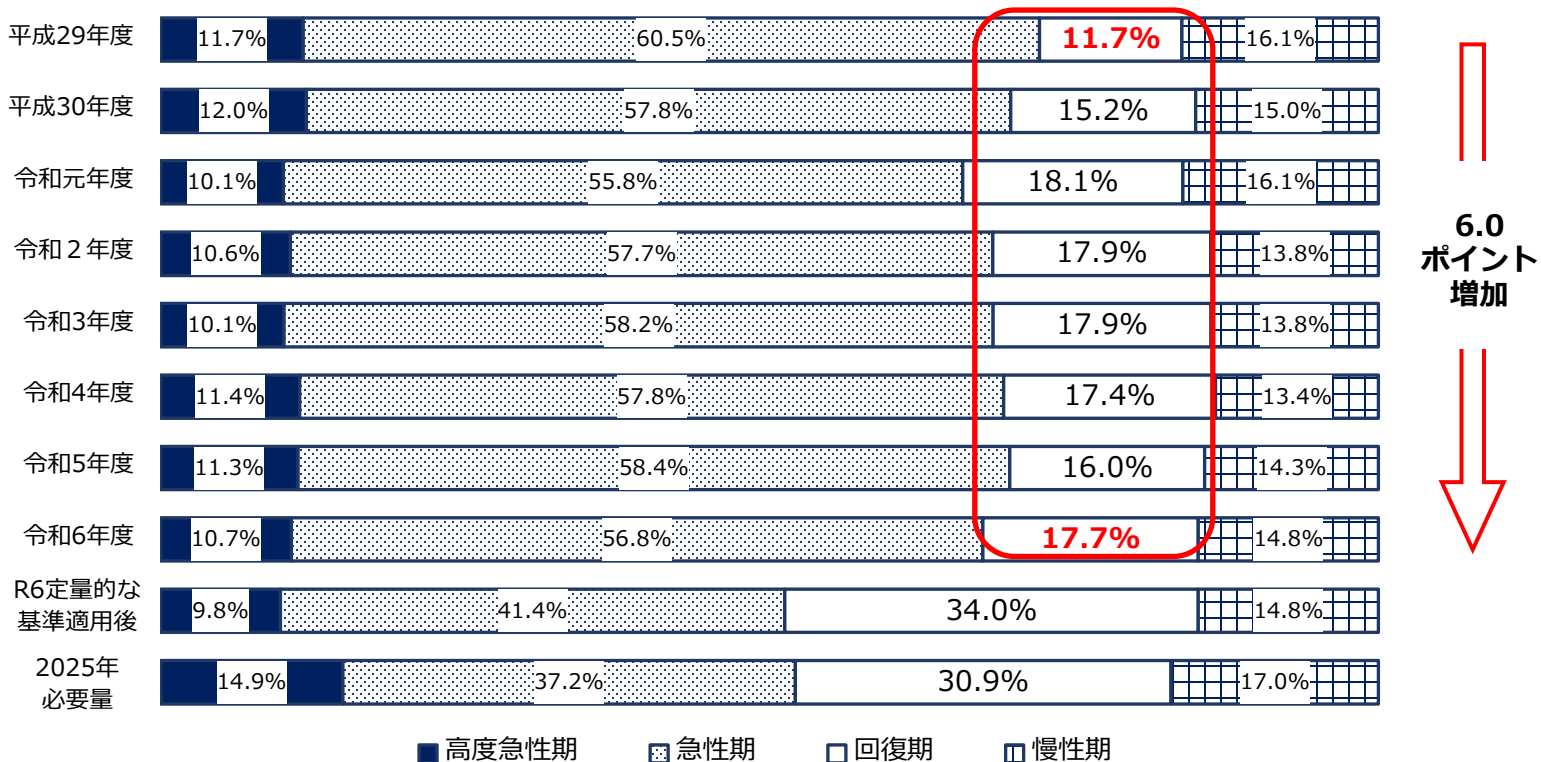
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

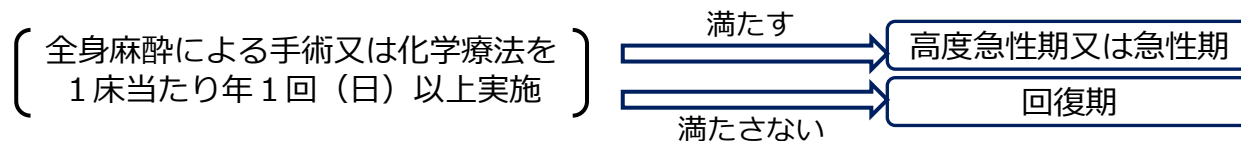
【区西南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 6.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

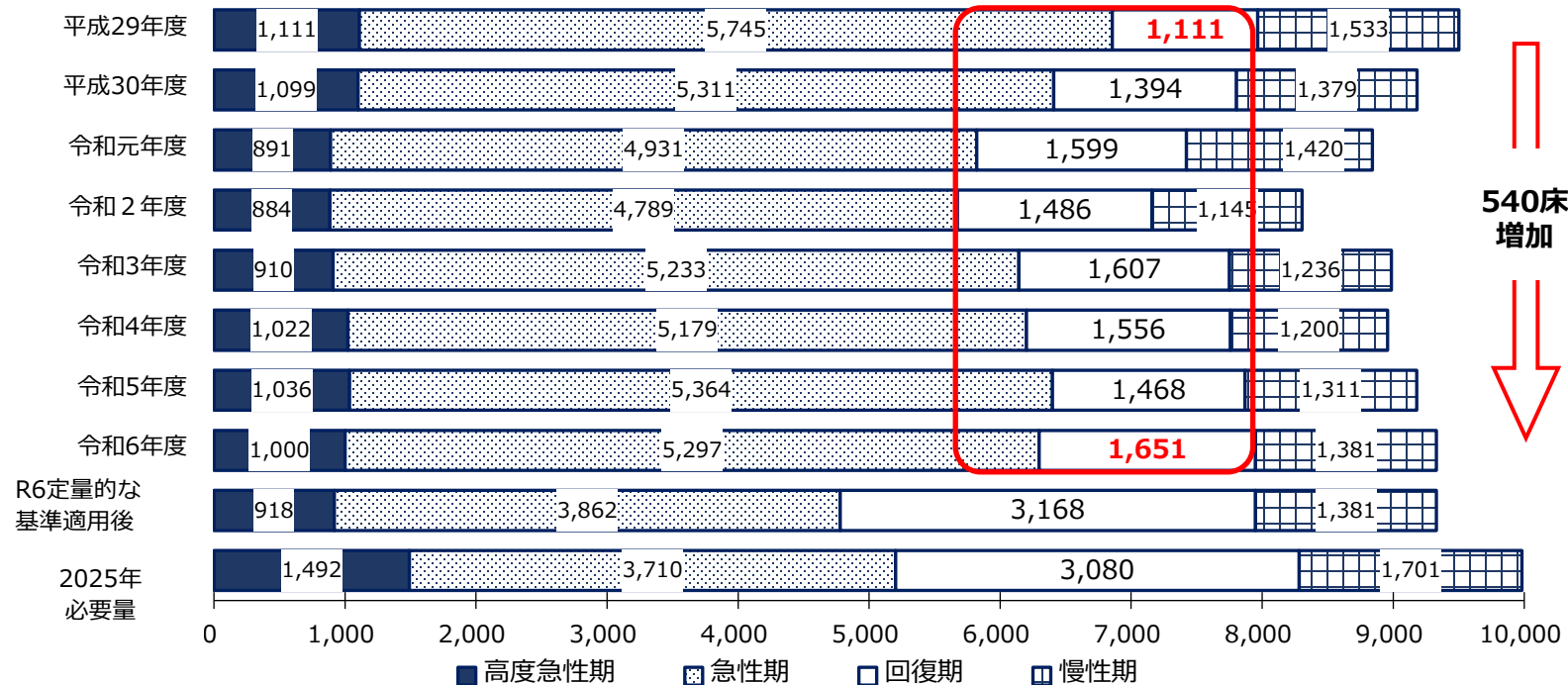


(出所) 病床機能報告より作成

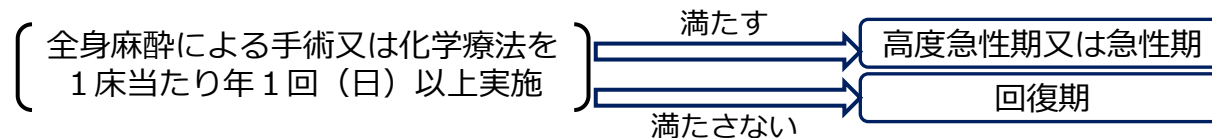
【区西南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 540 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



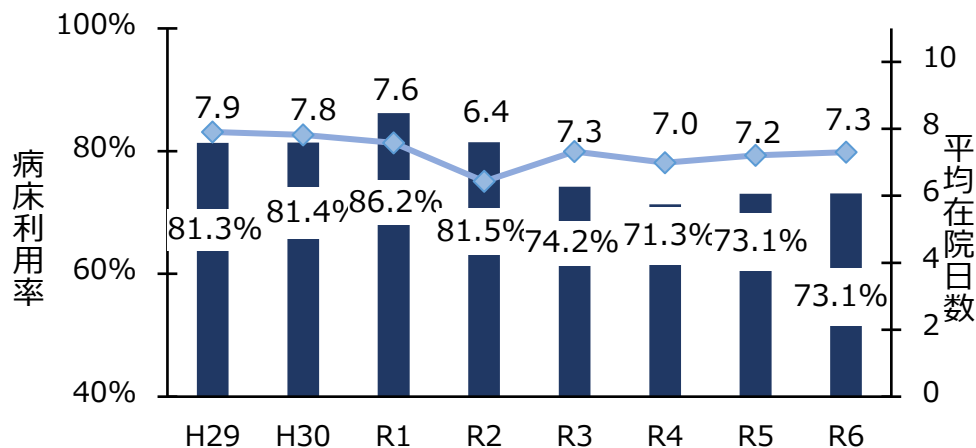
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



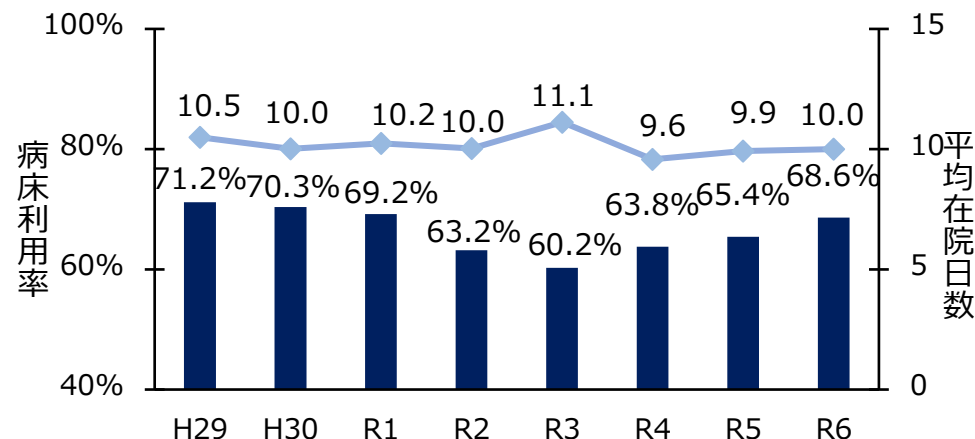
（出所）病床機能報告より作成

【区西南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

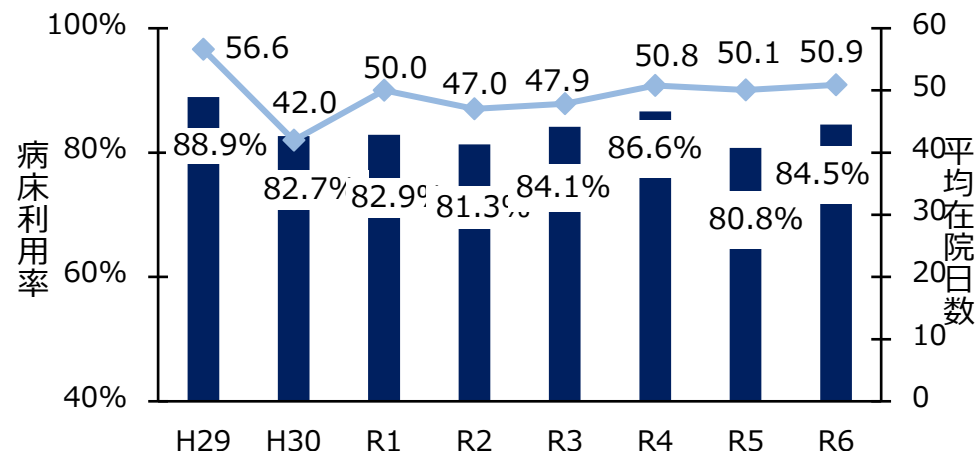
高度急性期



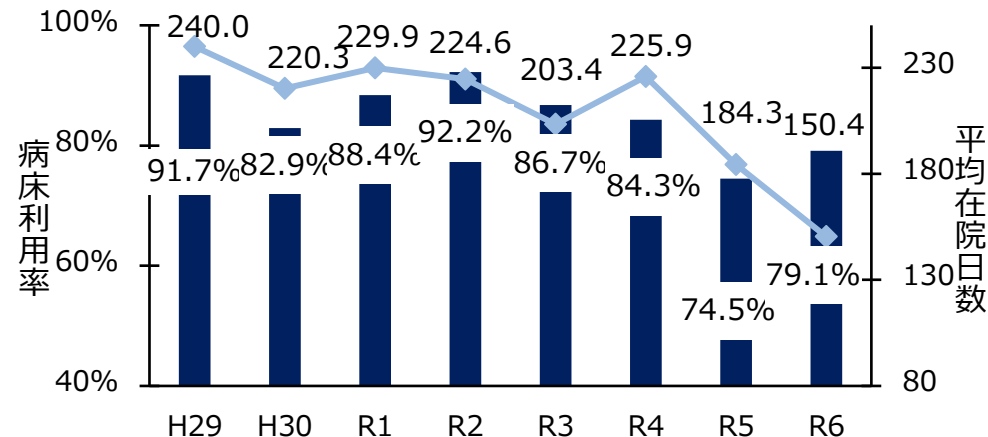
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

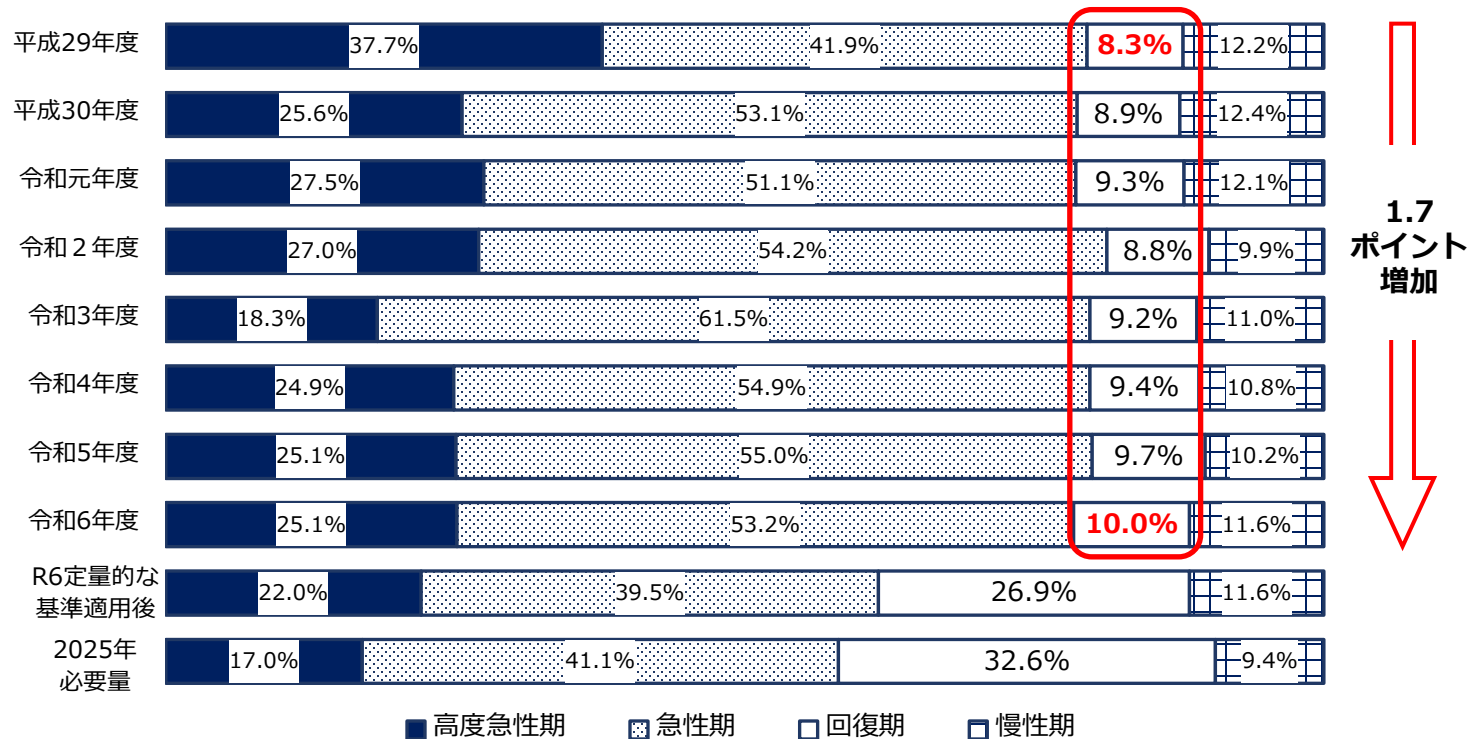
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

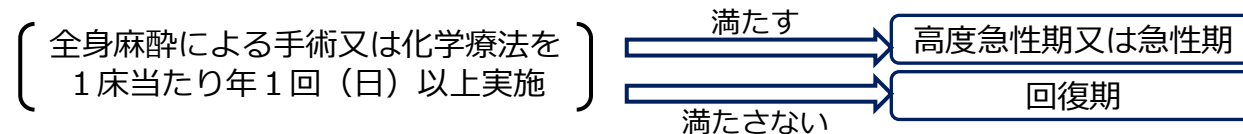
【区西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 1.7 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

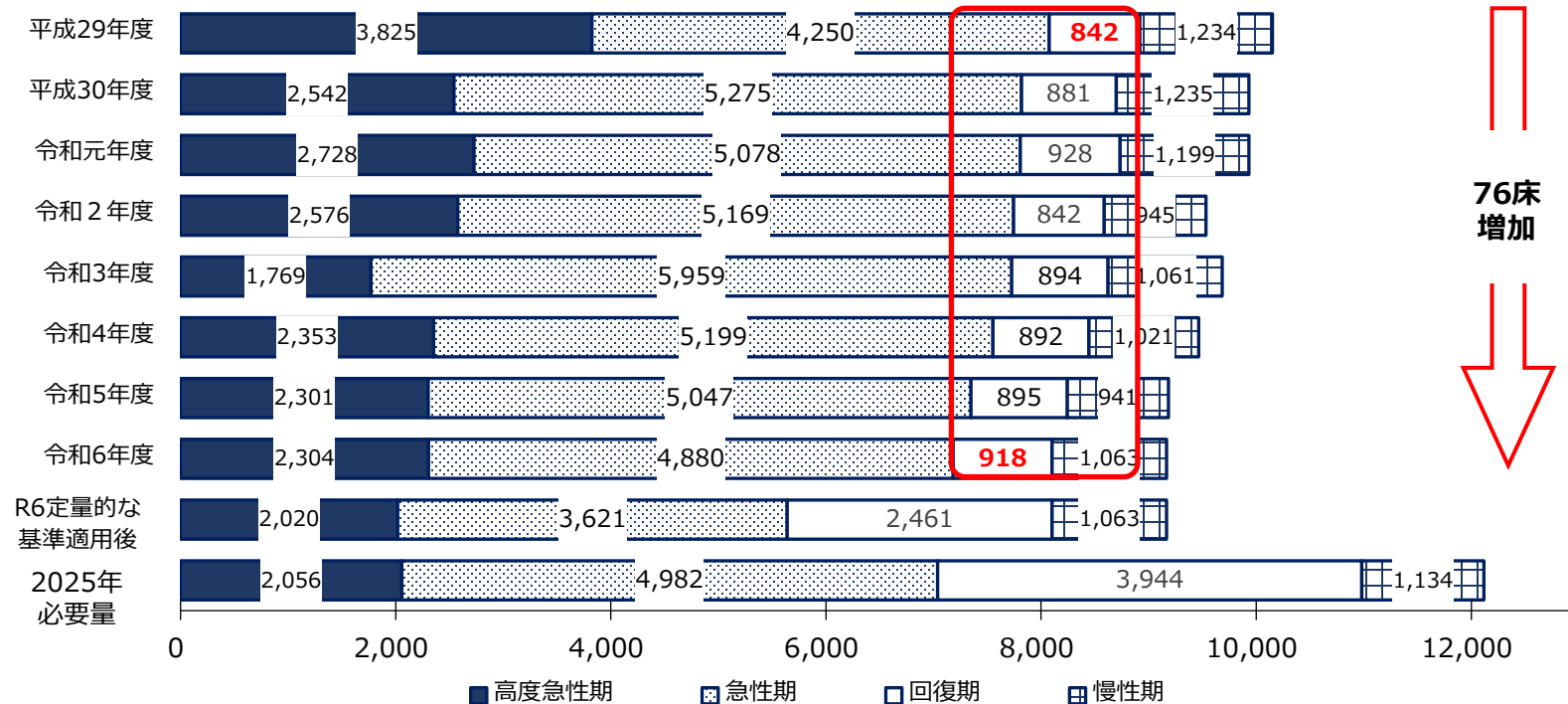


（出所）病床機能報告より作成

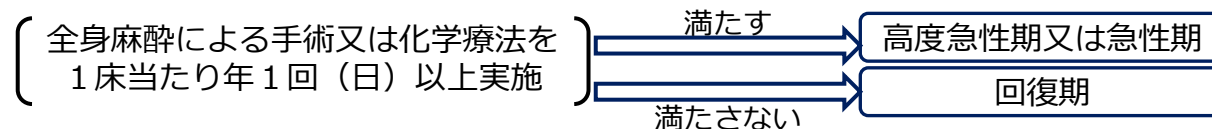
【区西部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 76床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



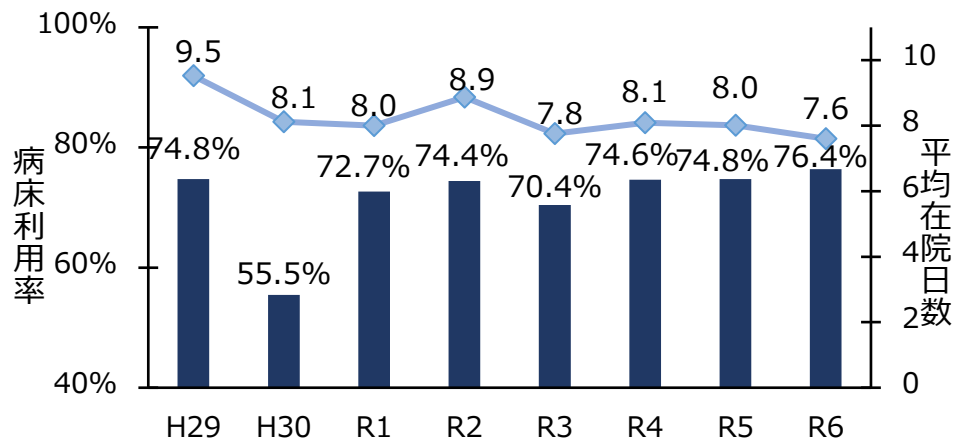
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



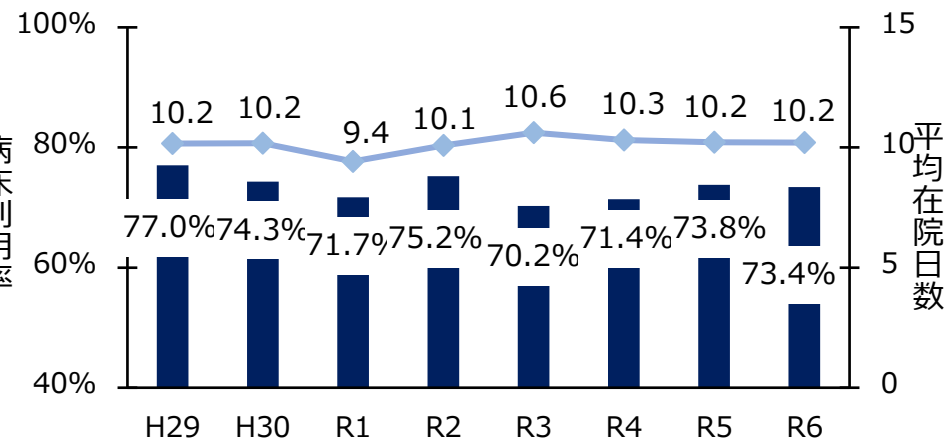
（出所）病床機能報告より作成

【区西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

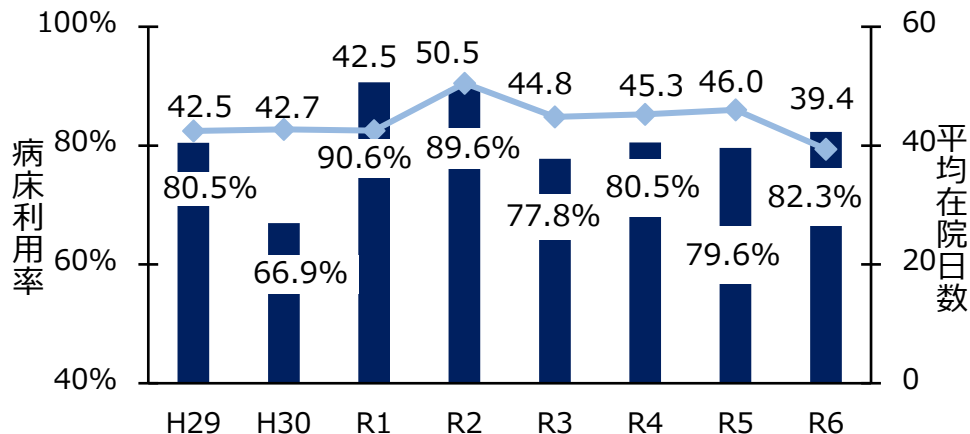
高度急性期



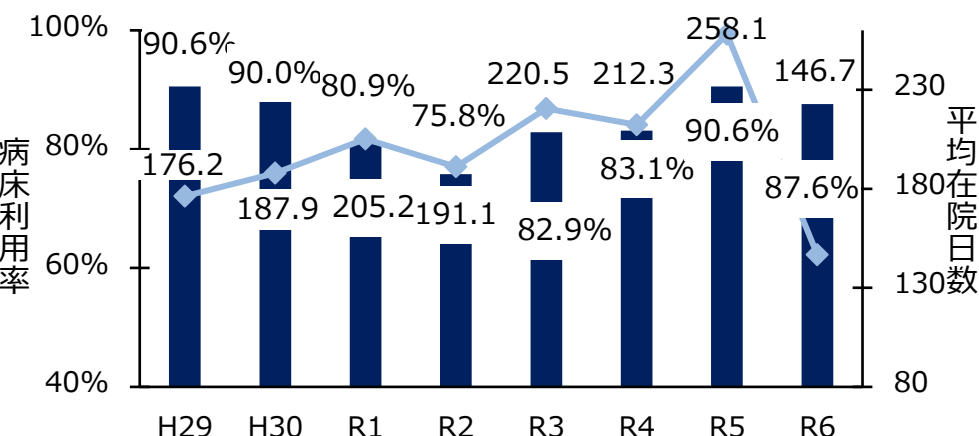
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

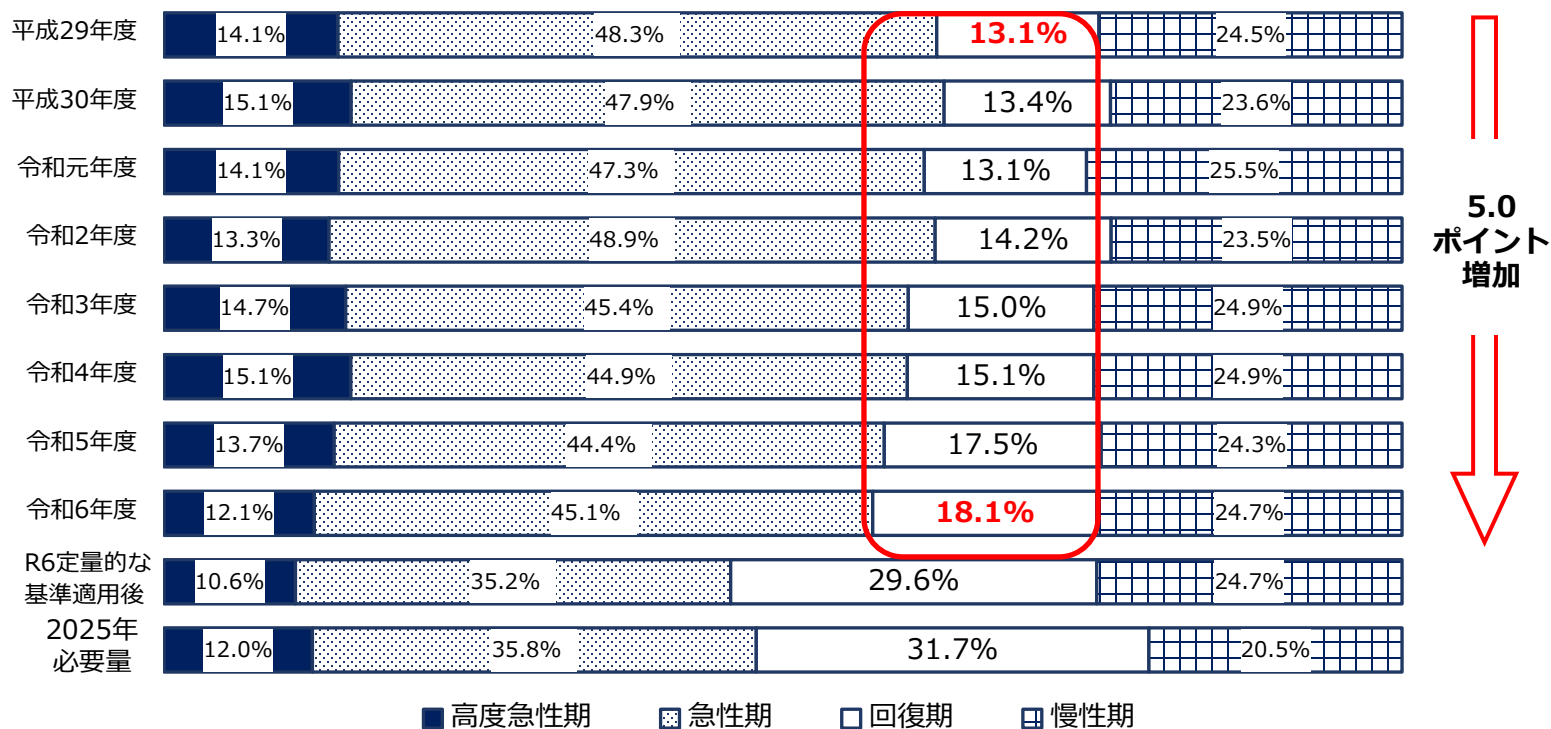
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【区西北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 5.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

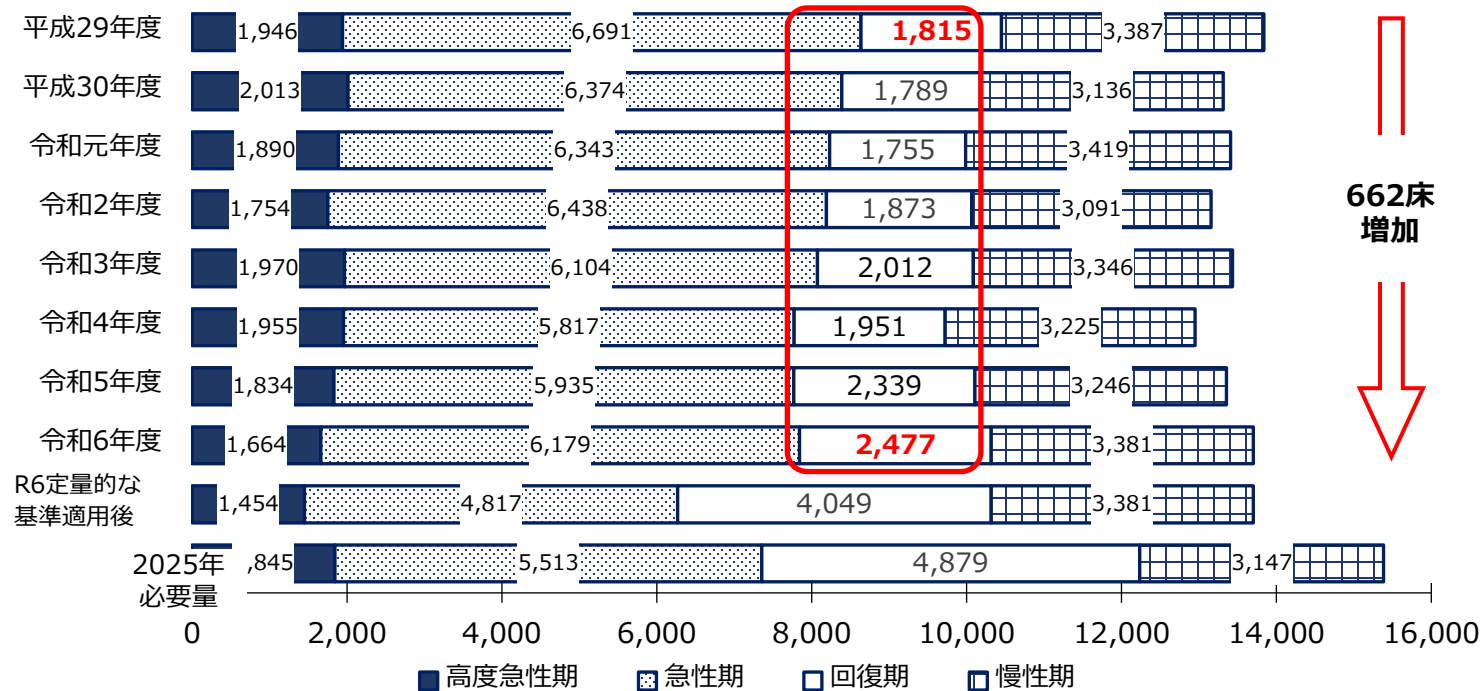


(出所) 病床機能報告より作成

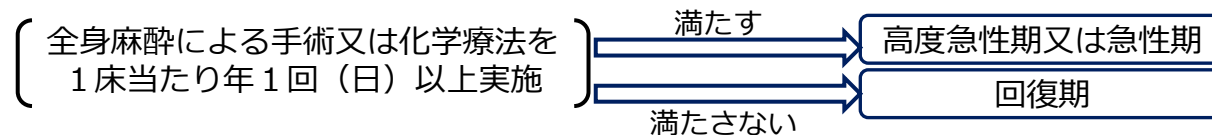
【区西北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 662 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



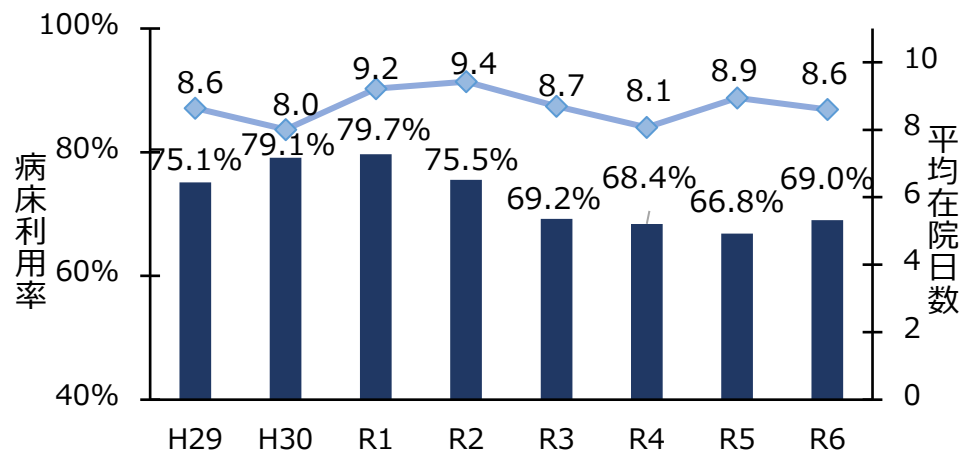
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



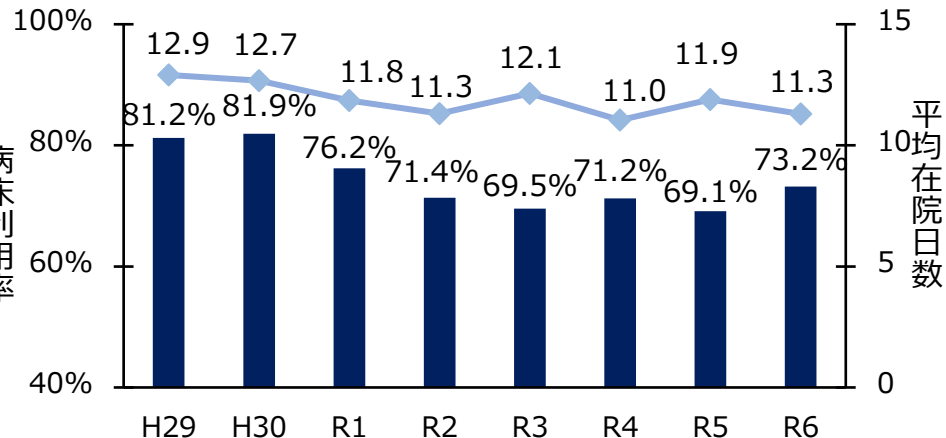
（出所）病床機能報告より作成

【区西北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

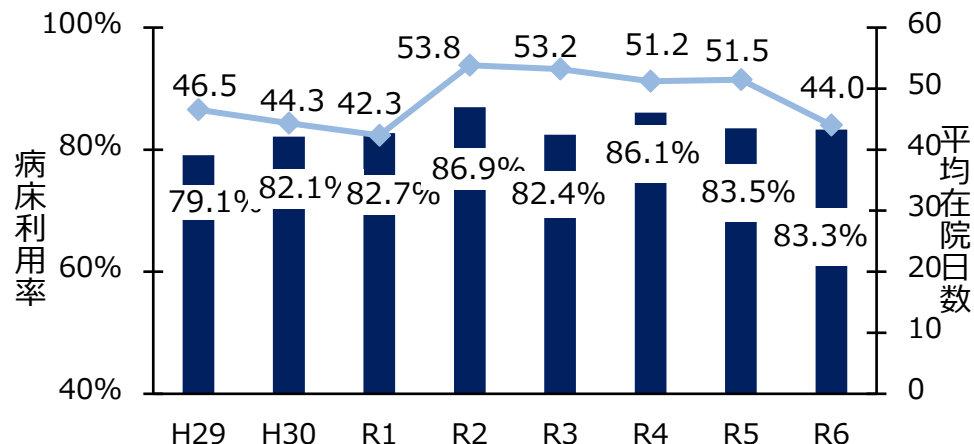
高度急性期



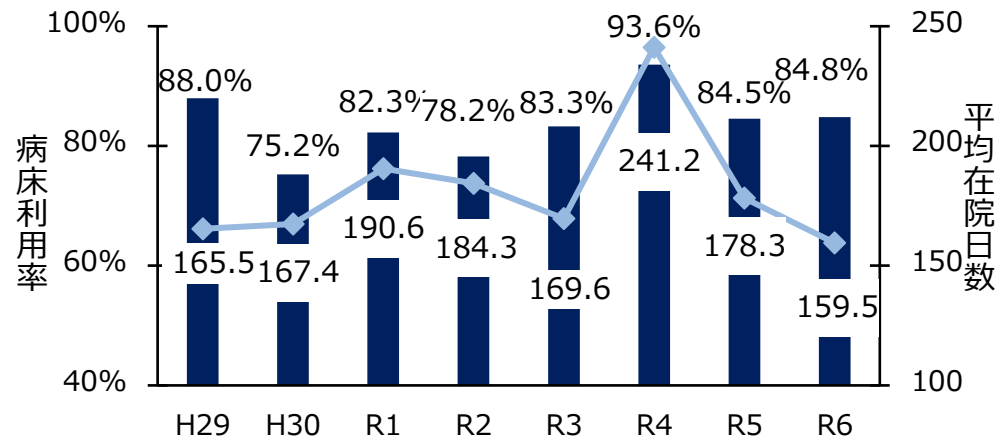
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

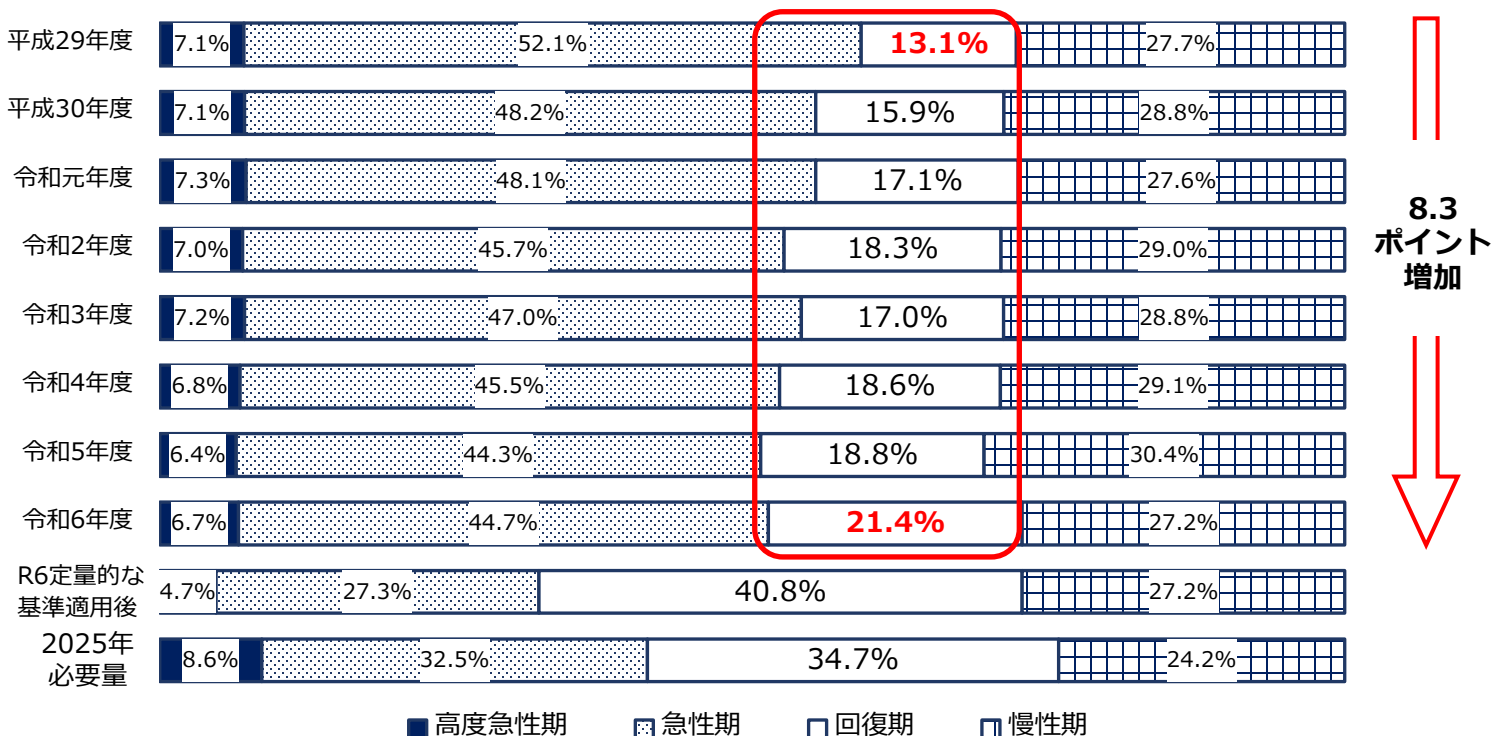
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

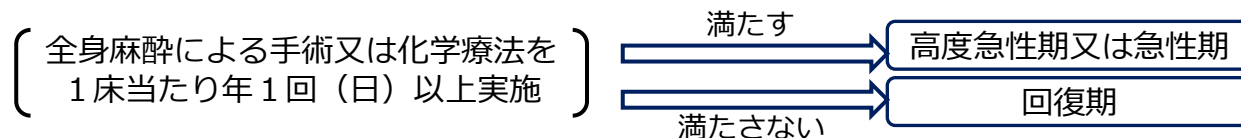
【区東北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 8.3ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

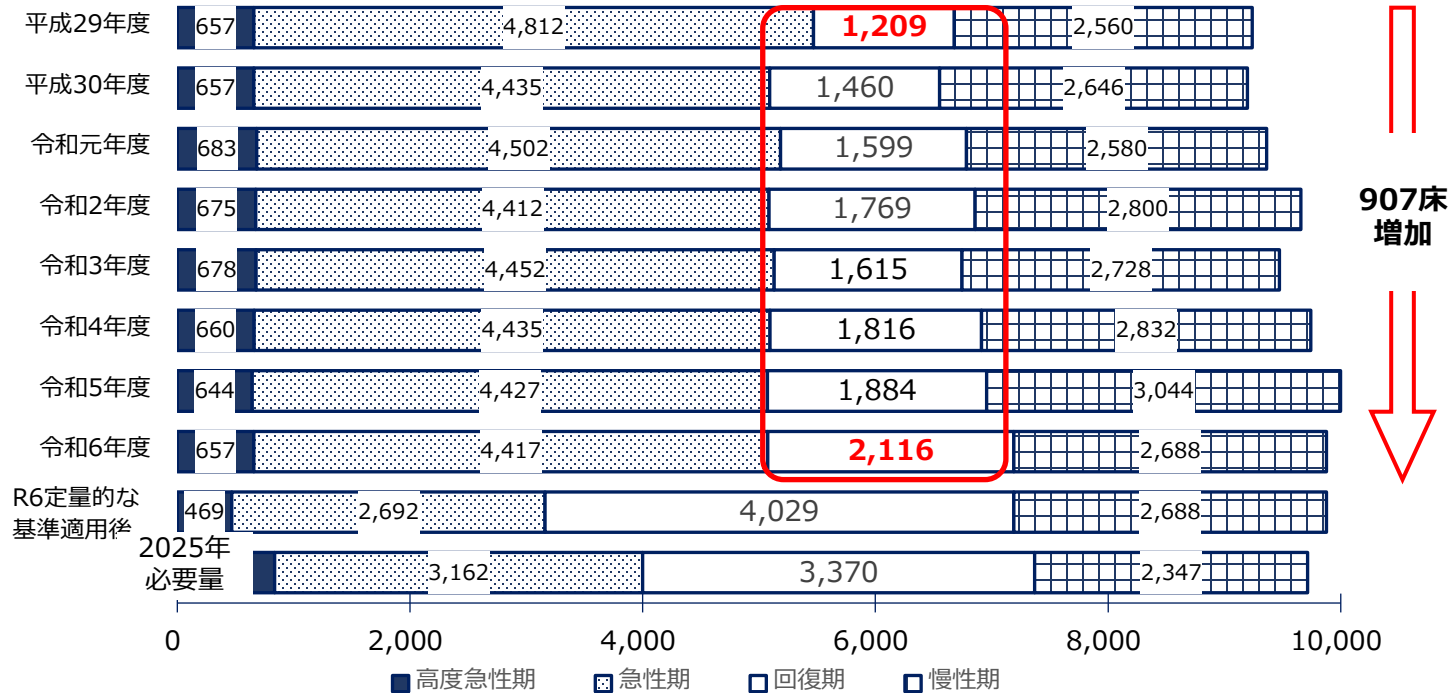


（出所）病床機能報告より作成

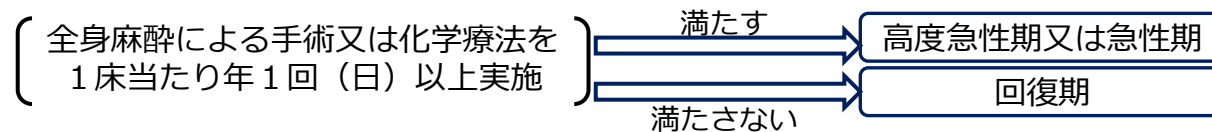
【区東北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 907 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



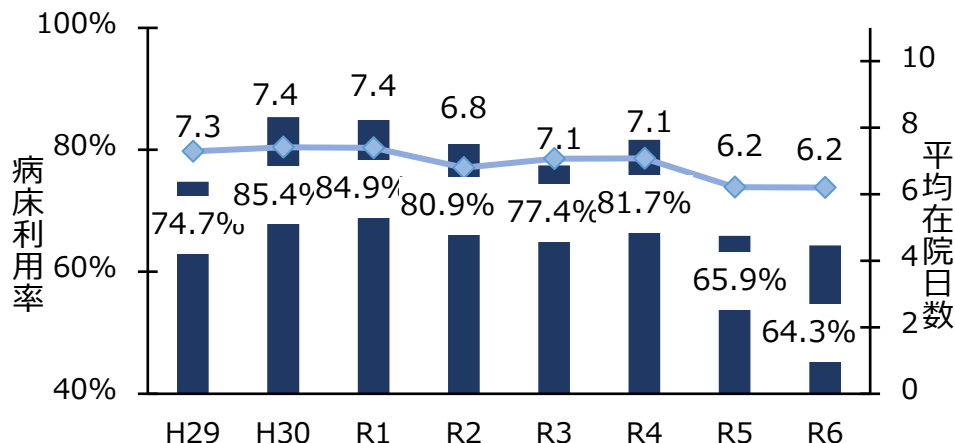
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



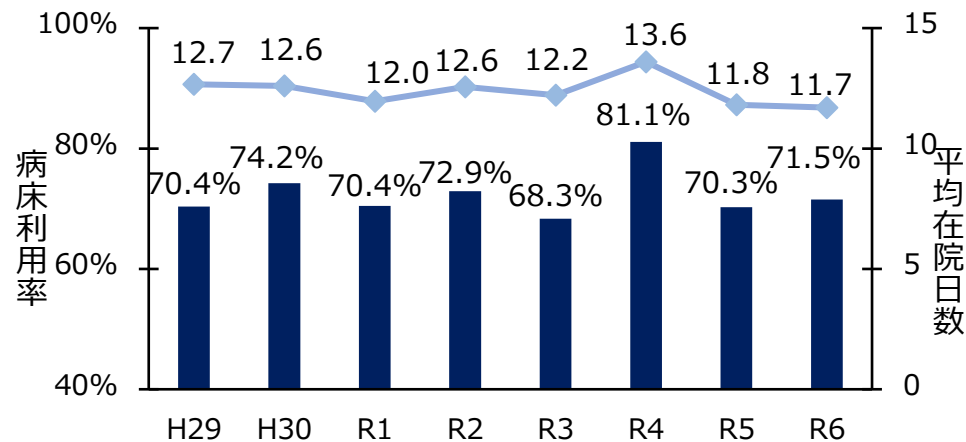
（出所）病床機能報告より作成

【区東北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

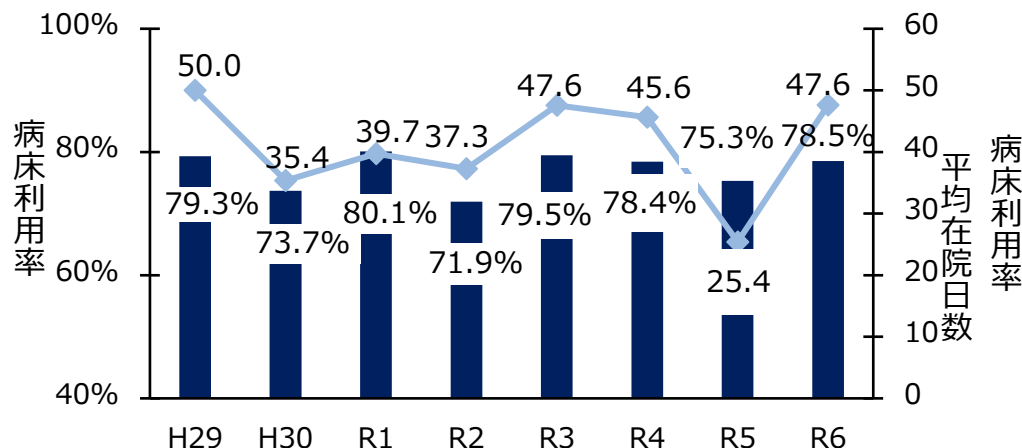
高度急性期



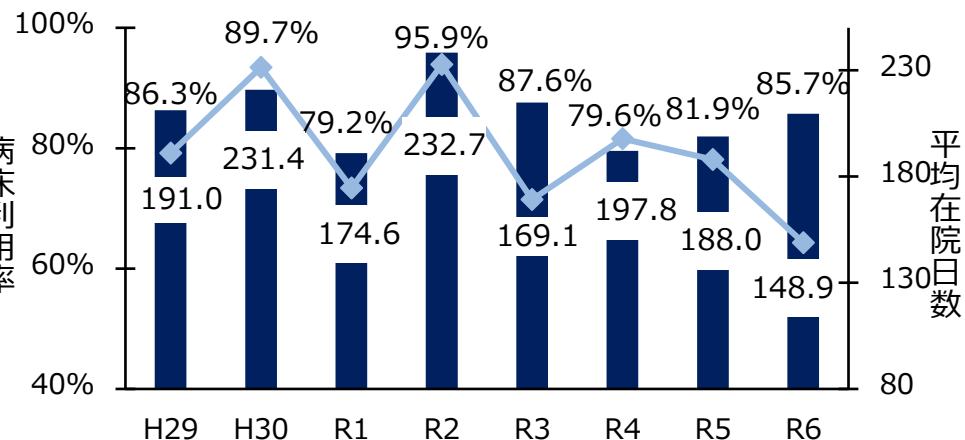
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

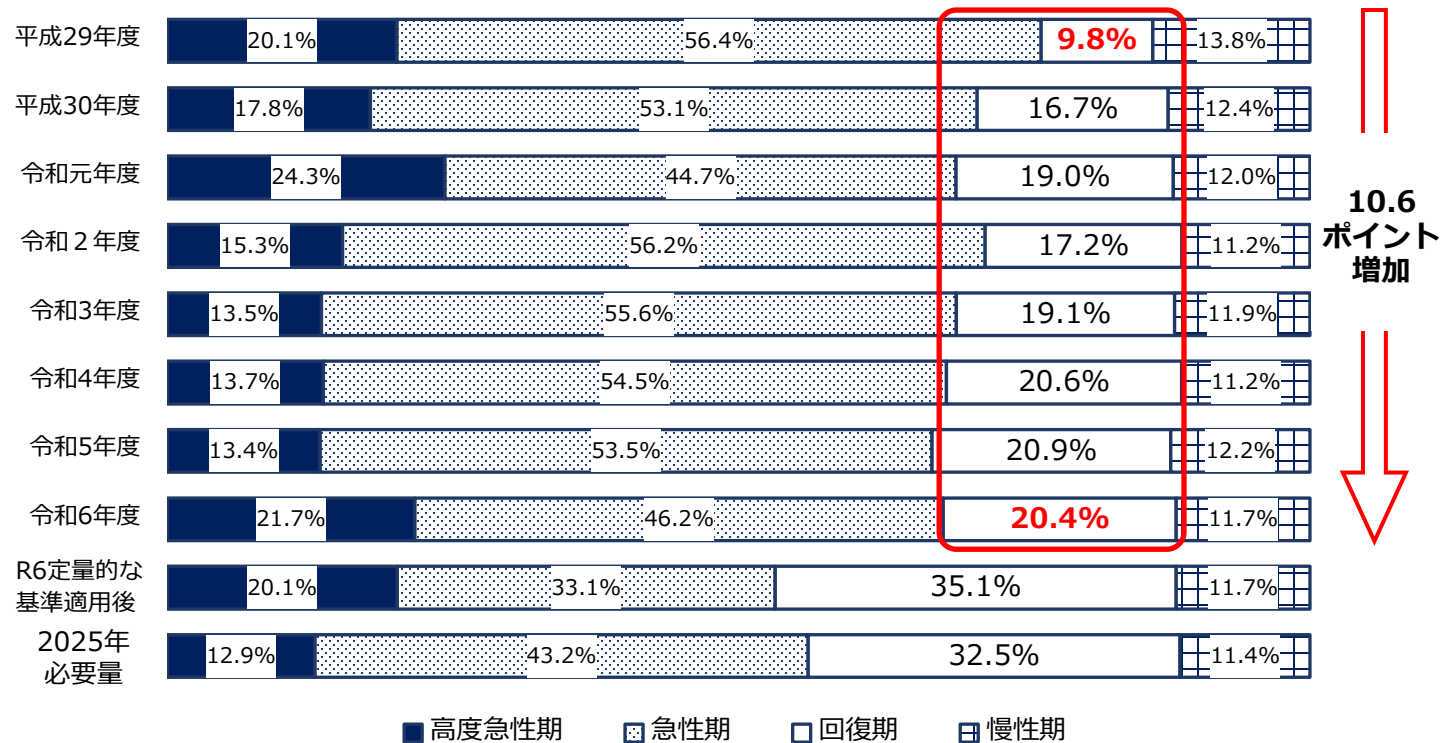
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

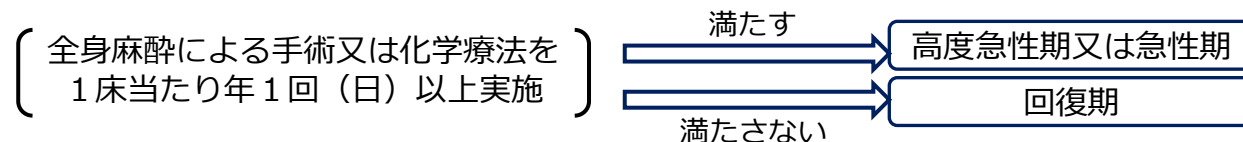
【区東部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では10.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

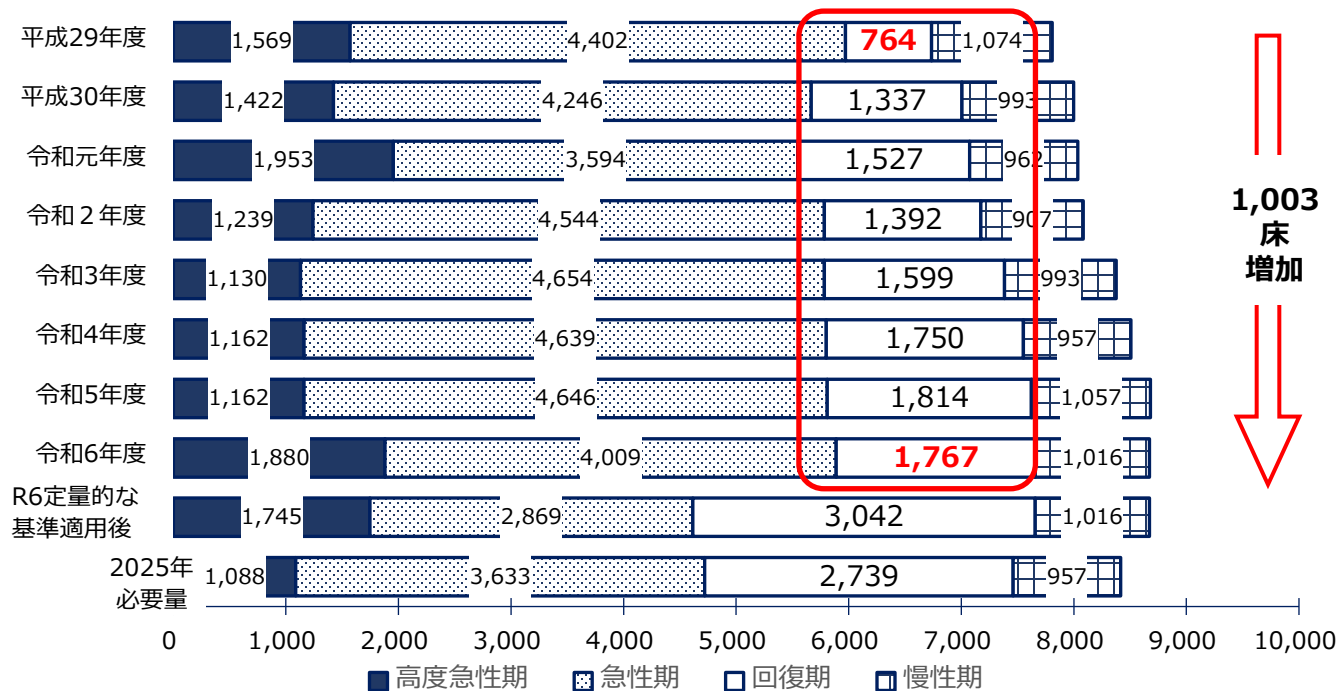


（出所）病床機能報告より作成

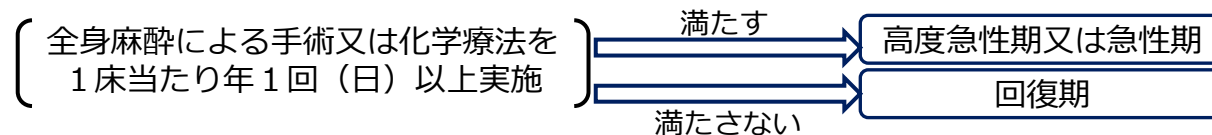
【区東部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 1,003 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



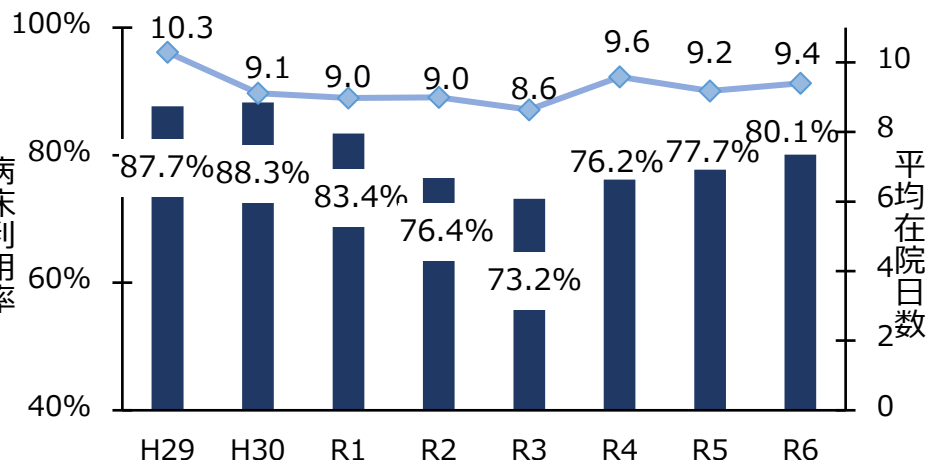
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



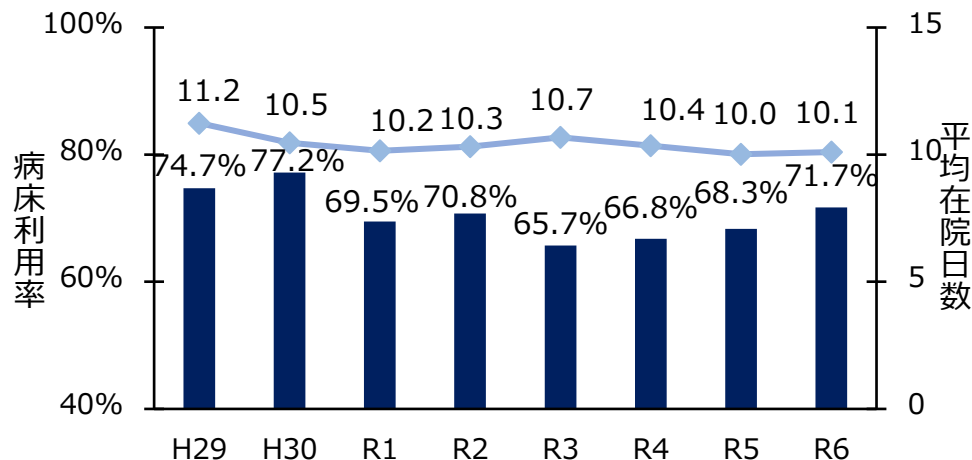
（出所）病床機能報告より作成

【区東部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

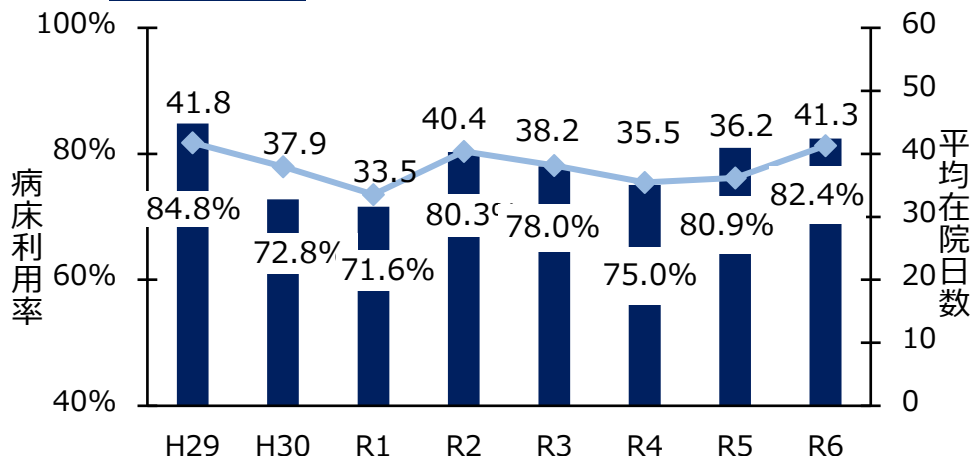
高度急性期



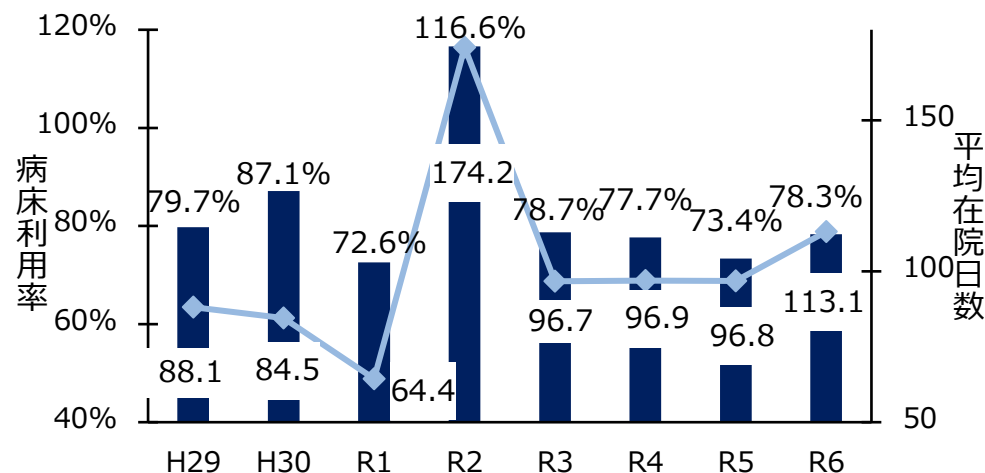
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

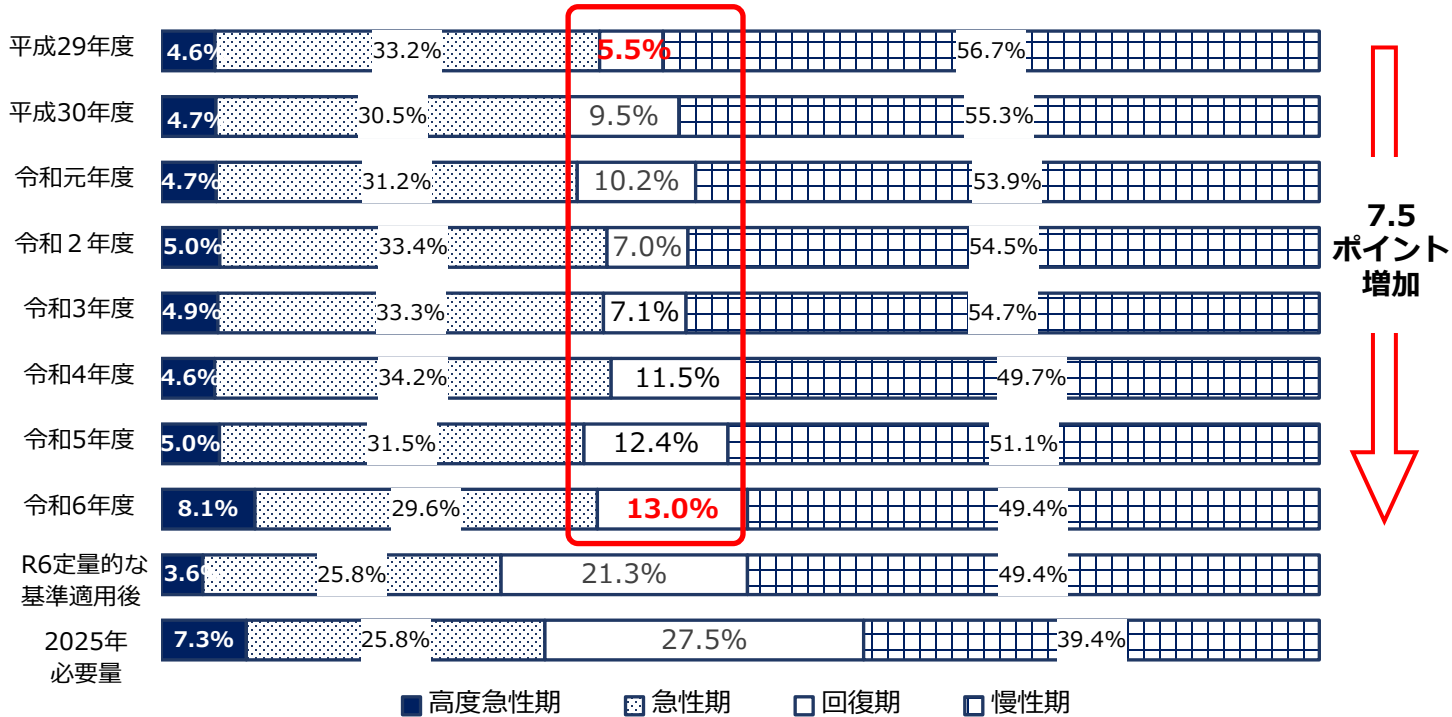
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

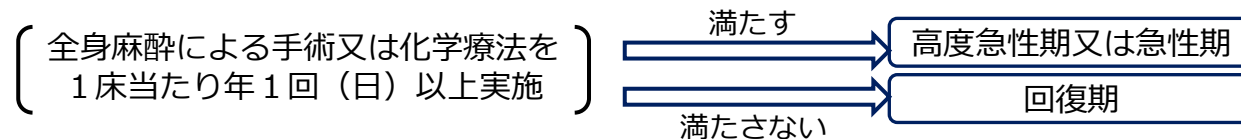
【西多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 7.5ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

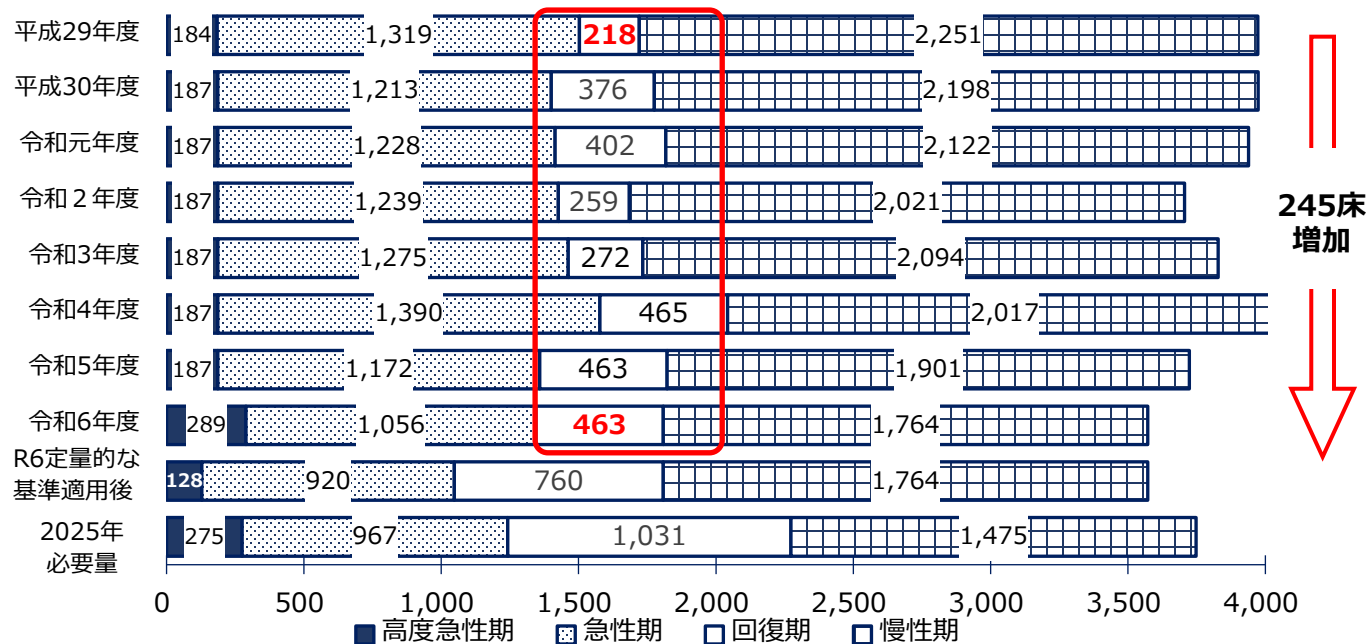


（出所）病床機能報告より作成

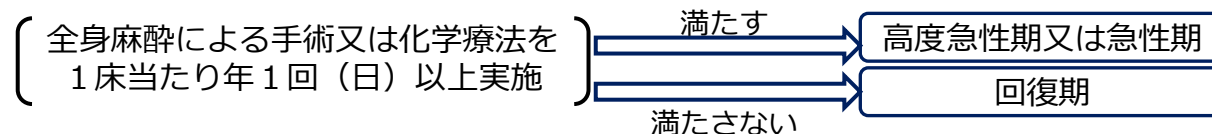
【西多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 245 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



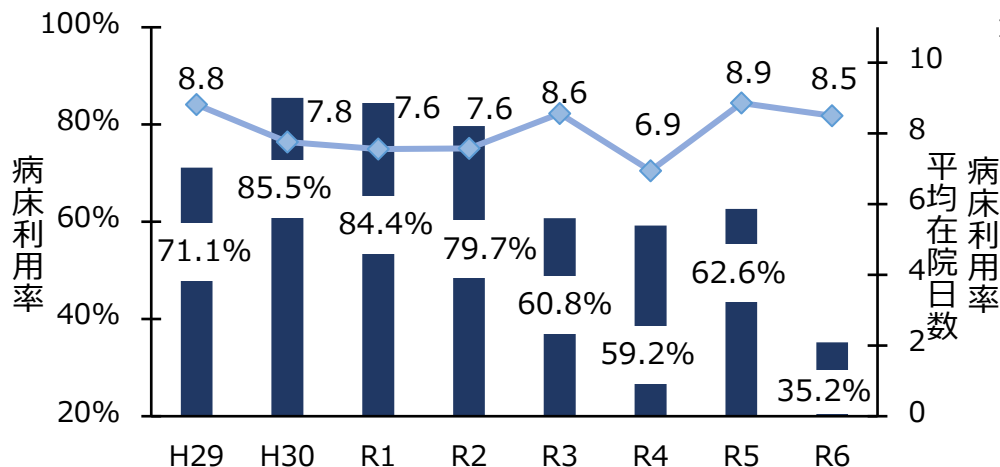
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



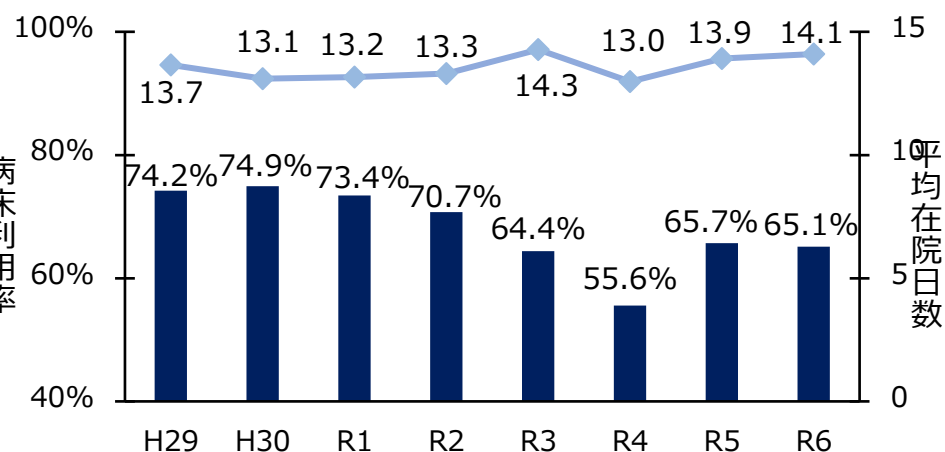
（出所）病床機能報告より作成

【西多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

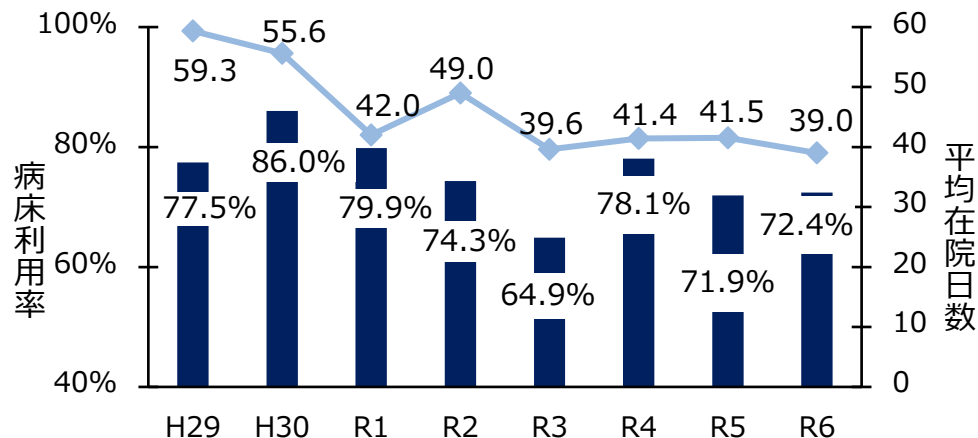
高度急性期



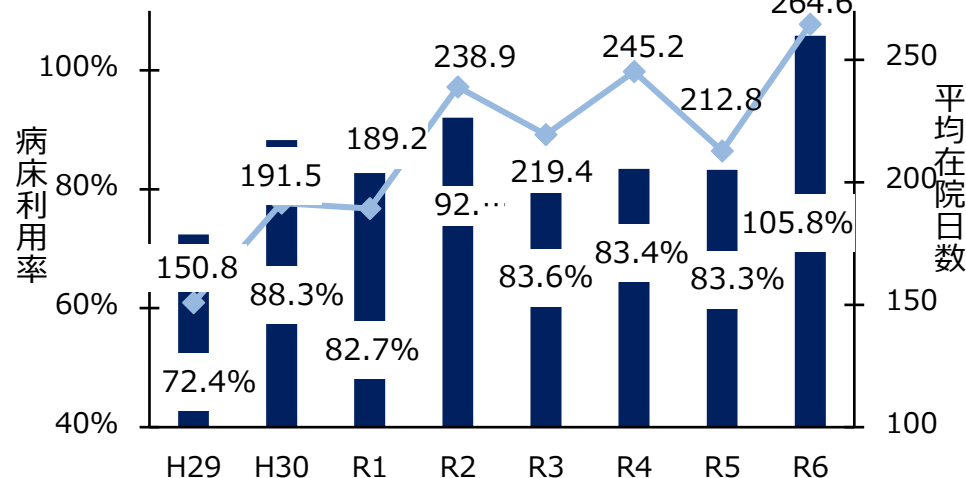
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

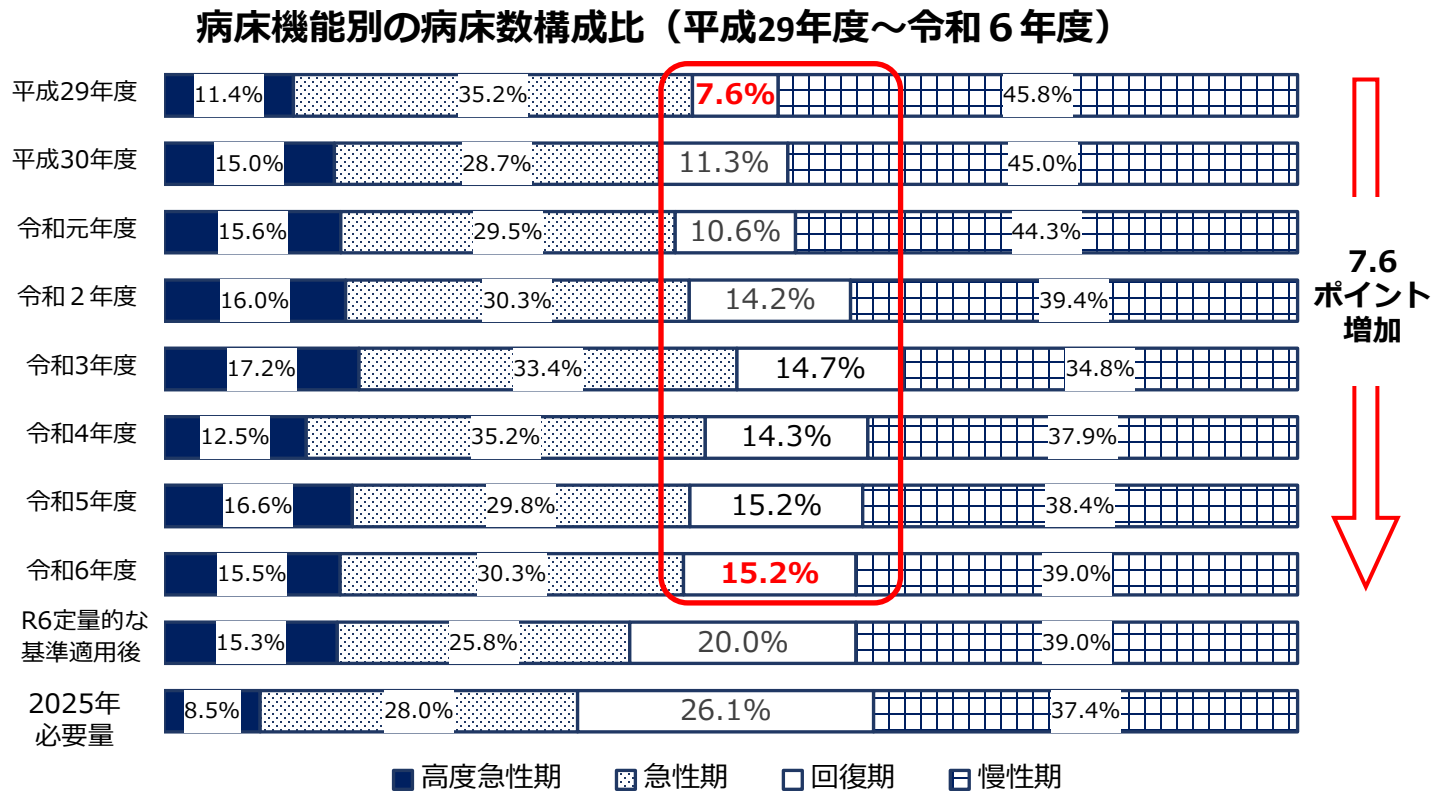
平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

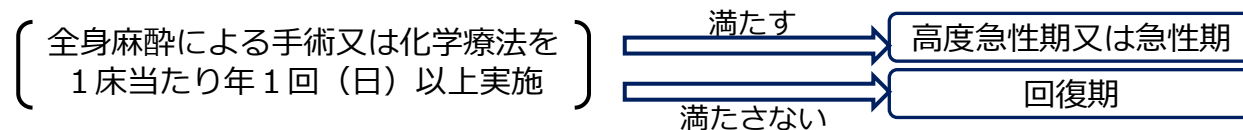
（出所）病床機能報告より作成

【南多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 7.6ポイント増



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

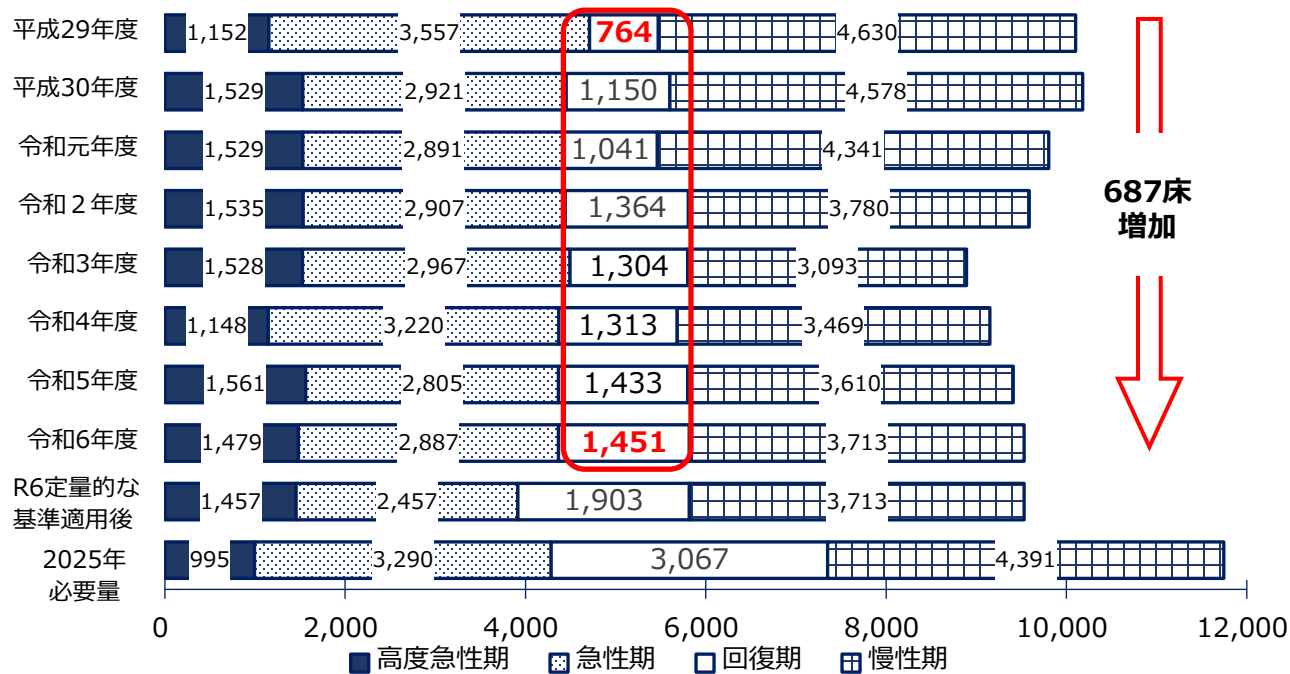


（出所）病床機能報告より作成

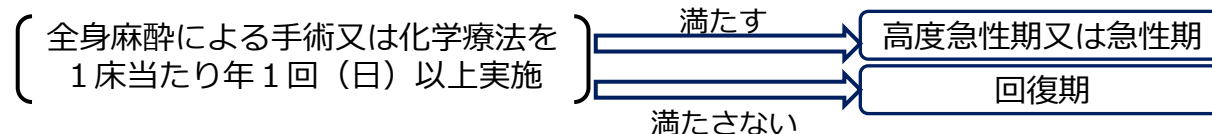
【南多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 687床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



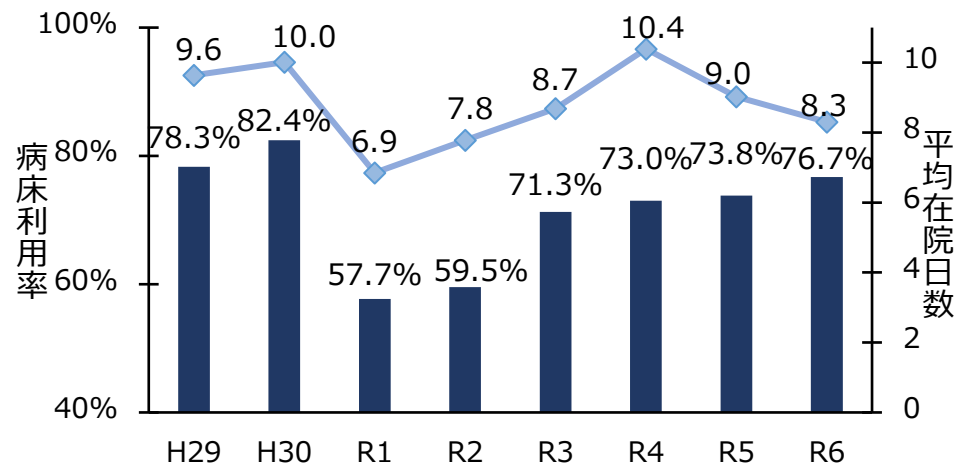
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



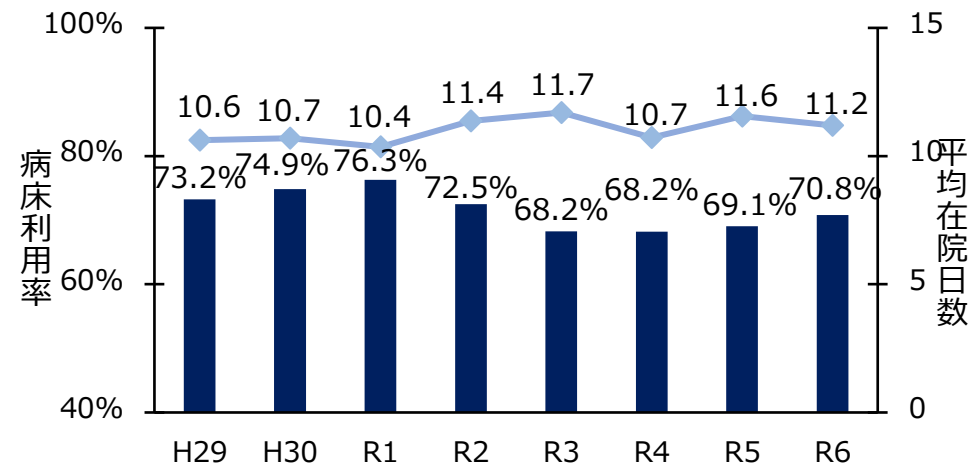
（出所）病床機能報告より作成

【南多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

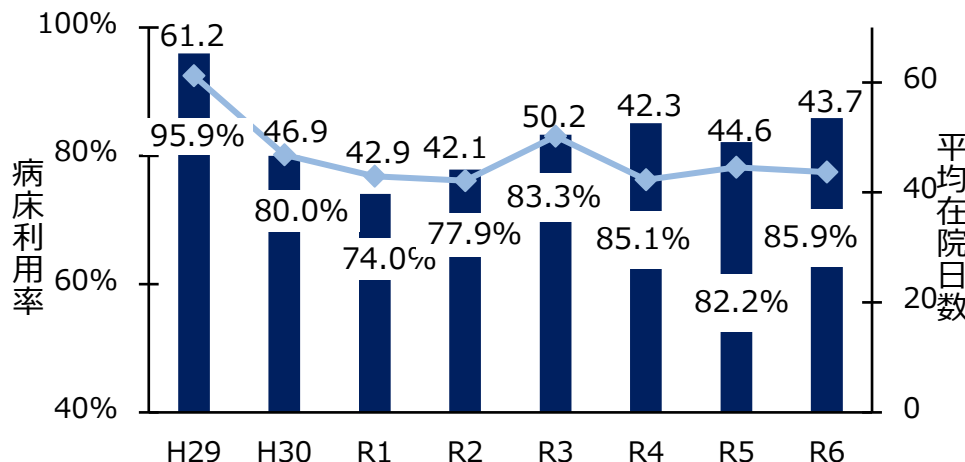
高度急性期



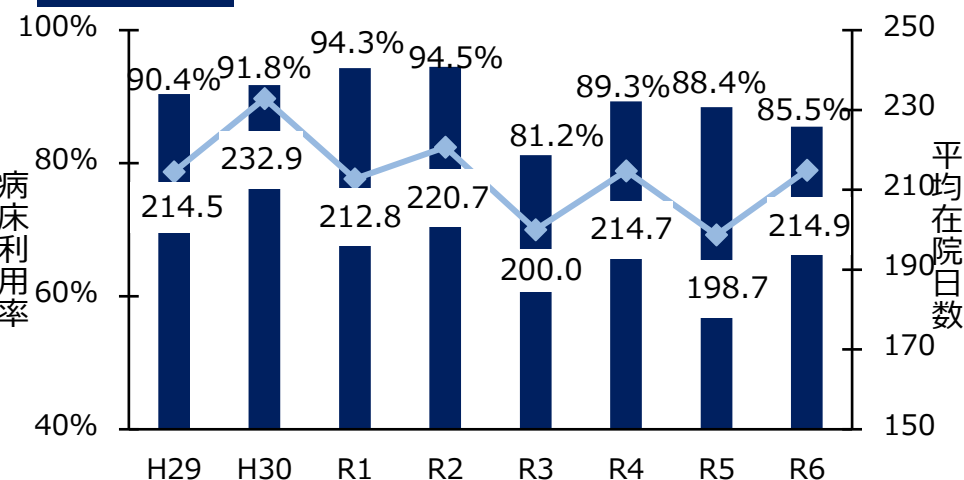
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

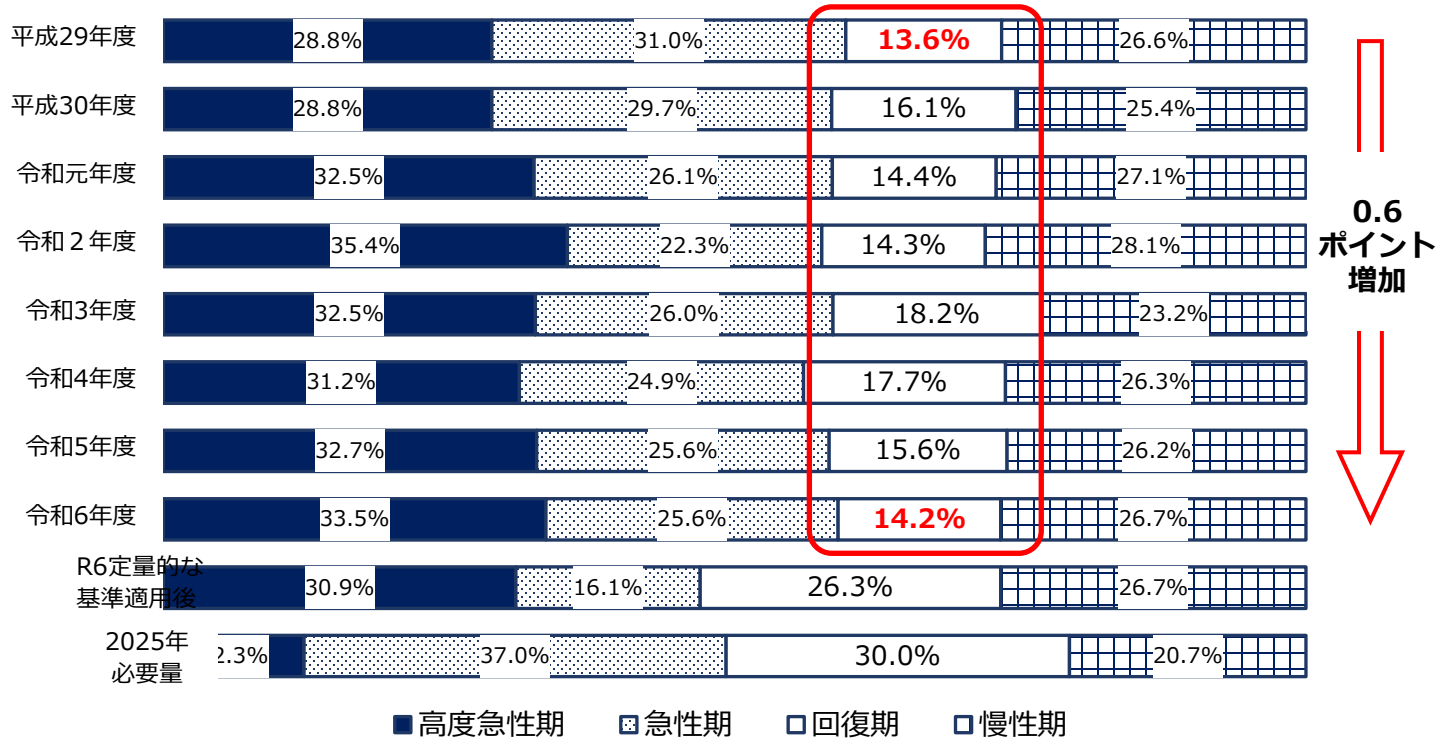
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

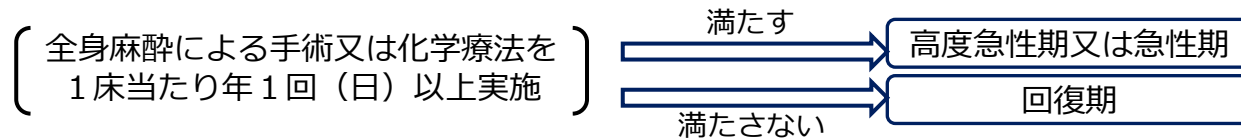
【北多摩西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 0.6 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

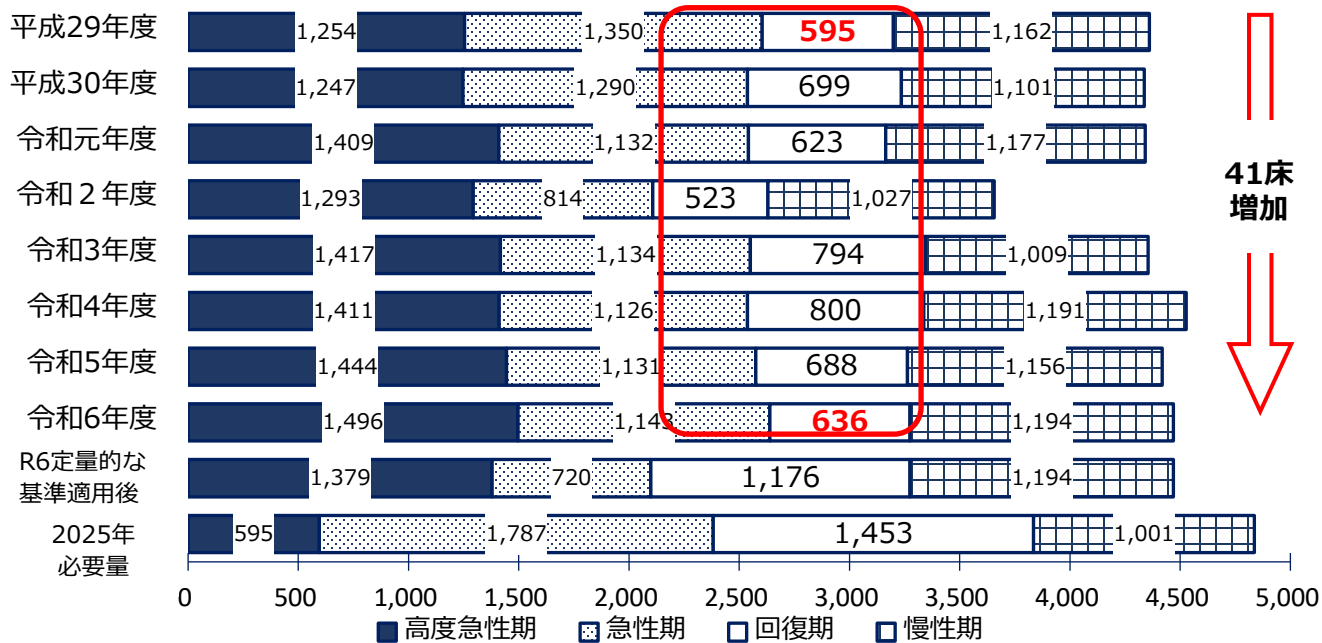


（出所）病床機能報告より作成

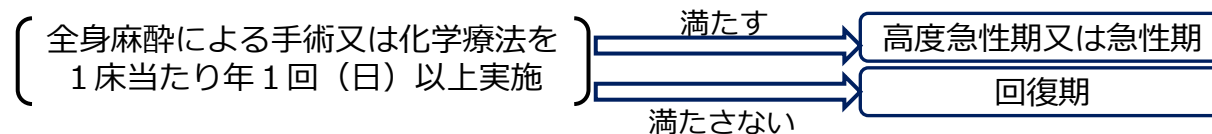
【北多摩西部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 41床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



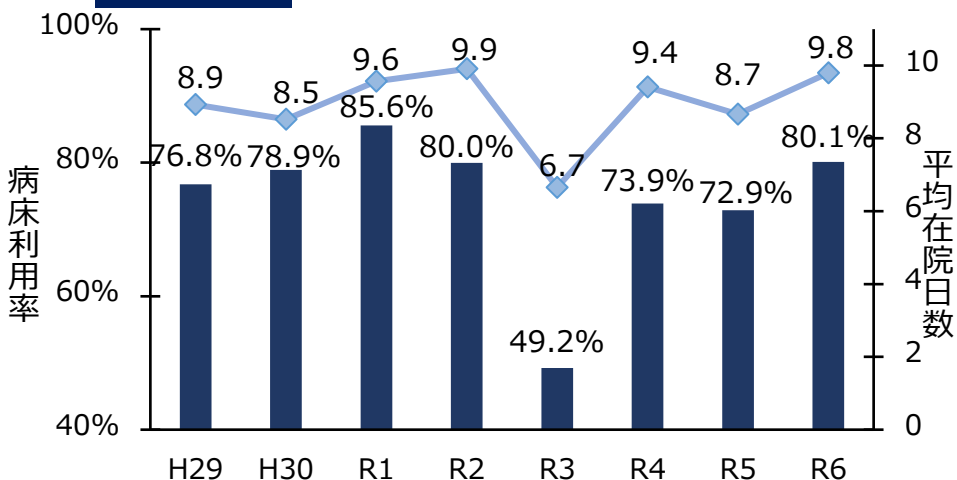
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



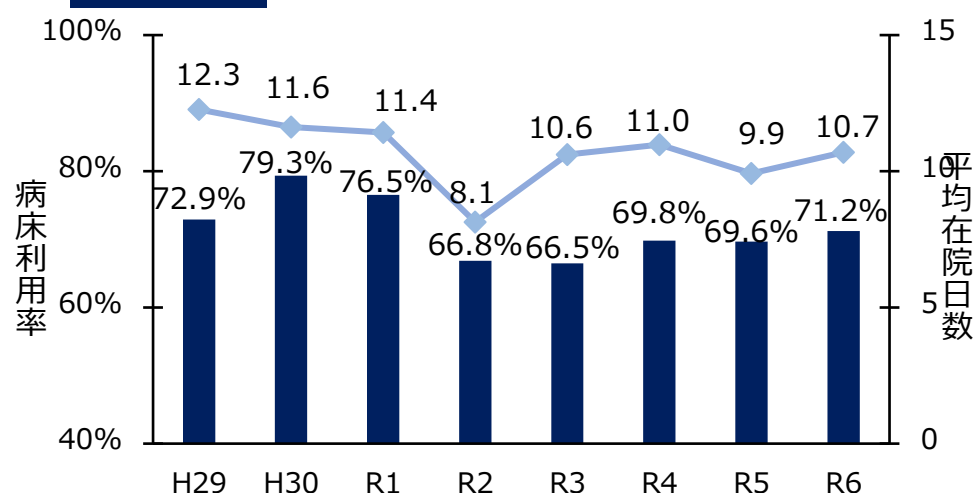
（出所）病床機能報告より作成

【北多摩西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

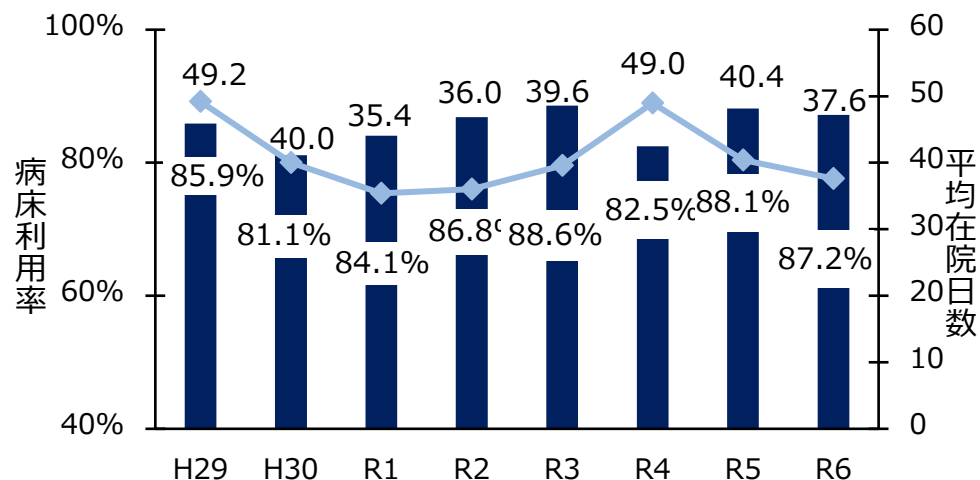
高度急性期



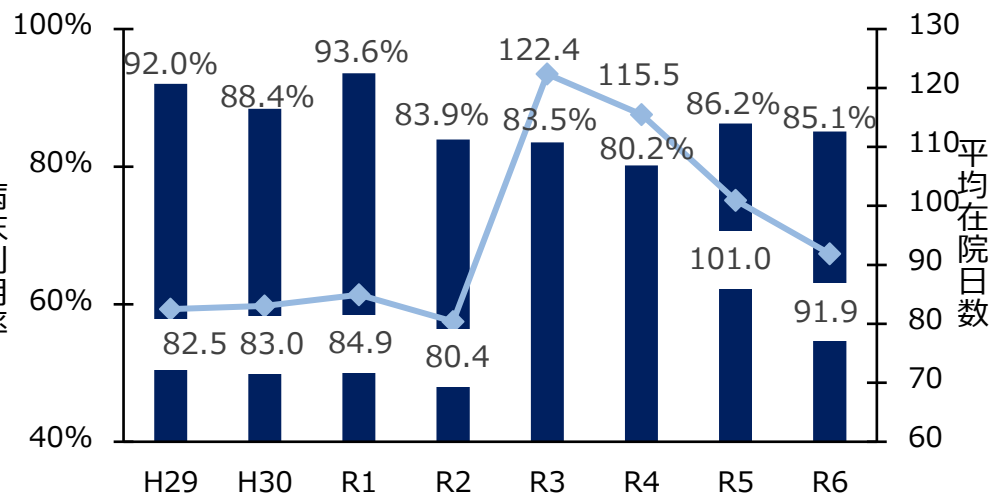
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

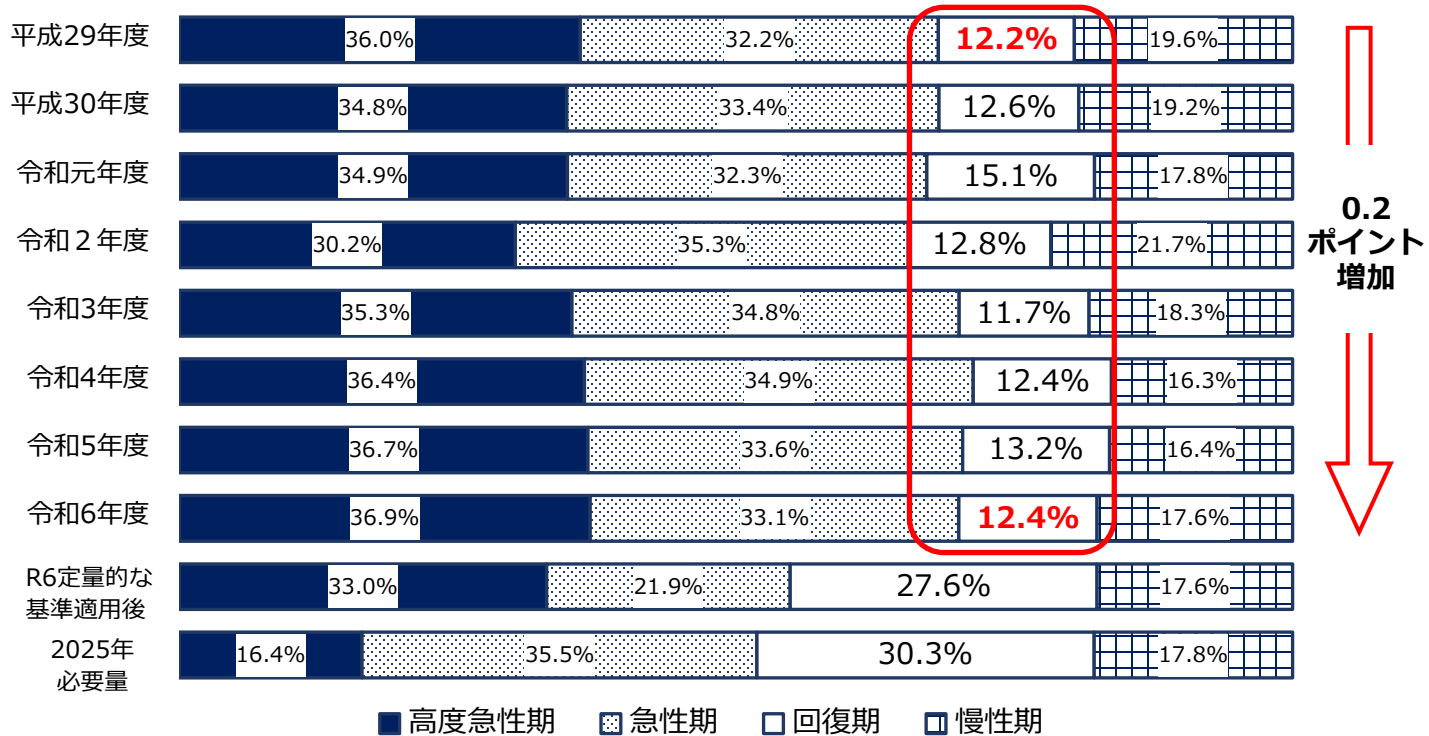
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

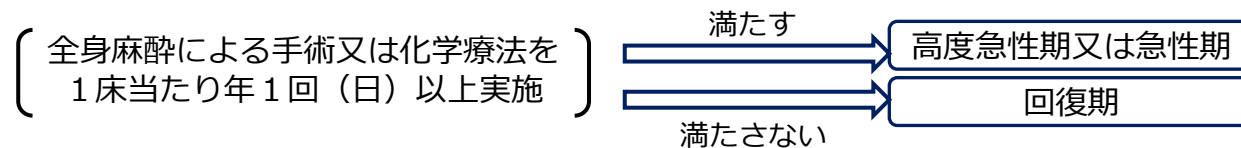
【北多摩南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度まで、ほぼ横ばい～微増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

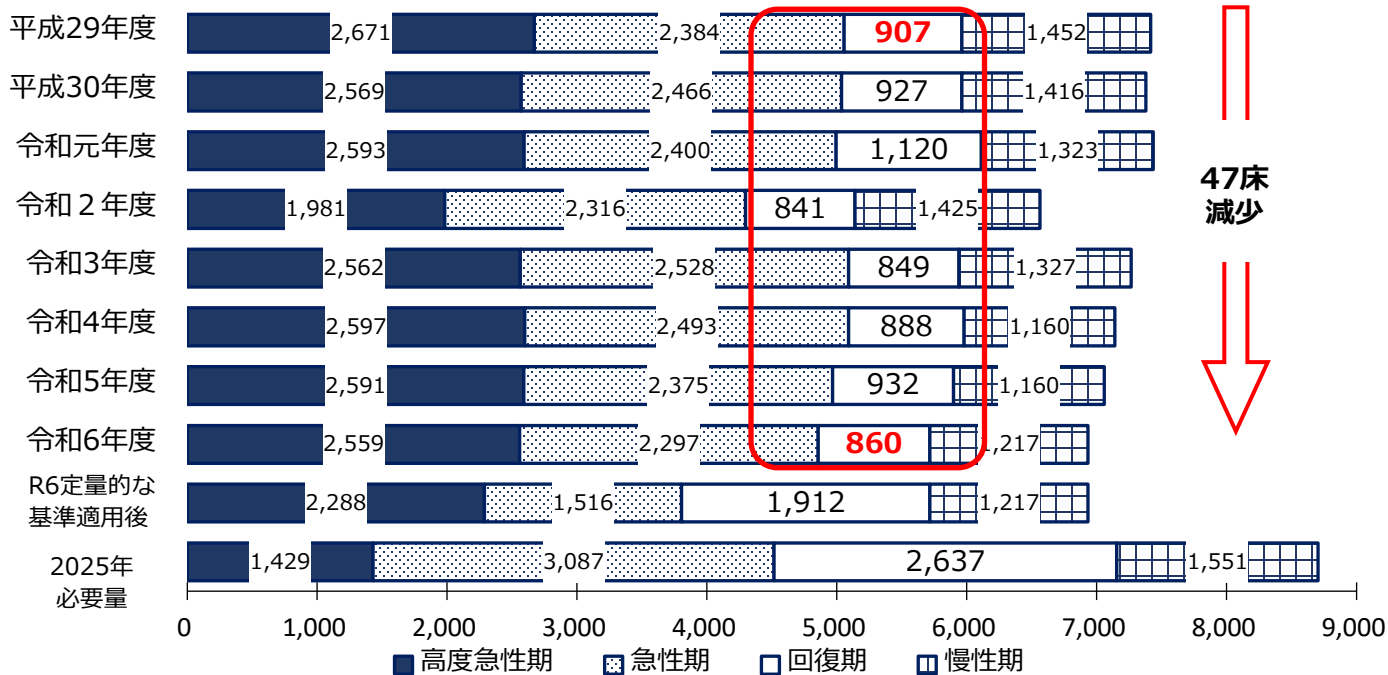


（出所）病床機能報告より作成

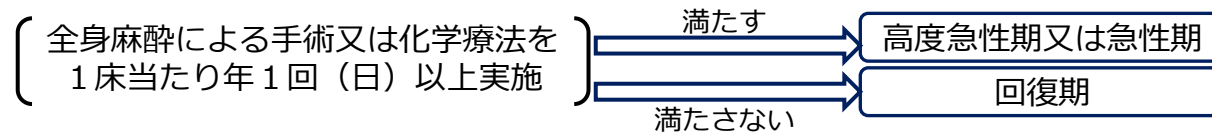
【北多摩南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度まで、横ばい～微減で推移

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



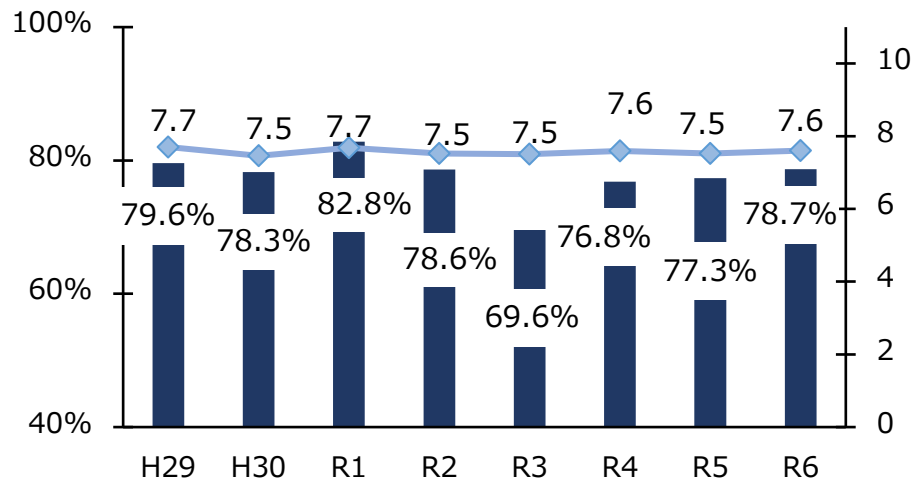
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



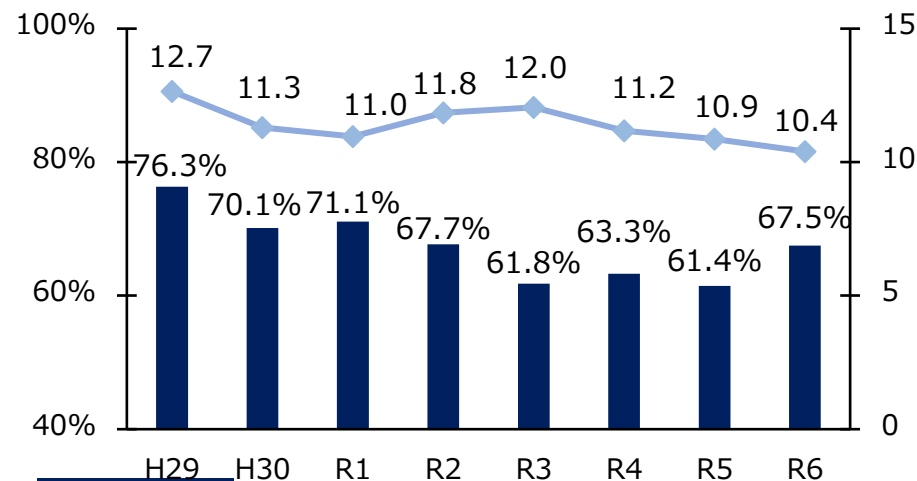
（出所）病床機能報告より作成

【北多摩南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

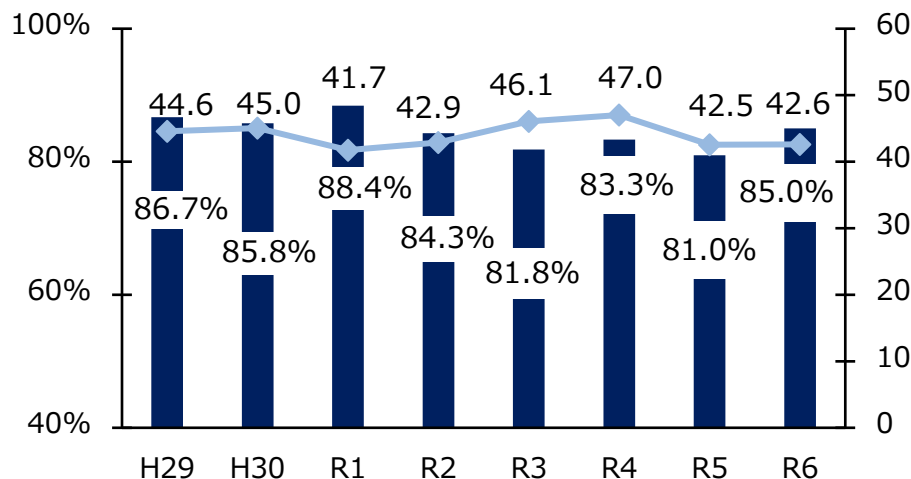
高度急性期



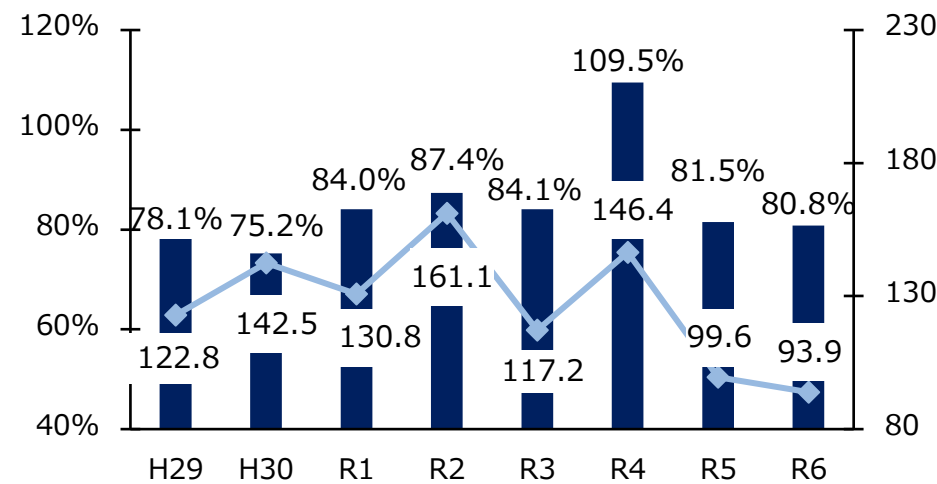
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

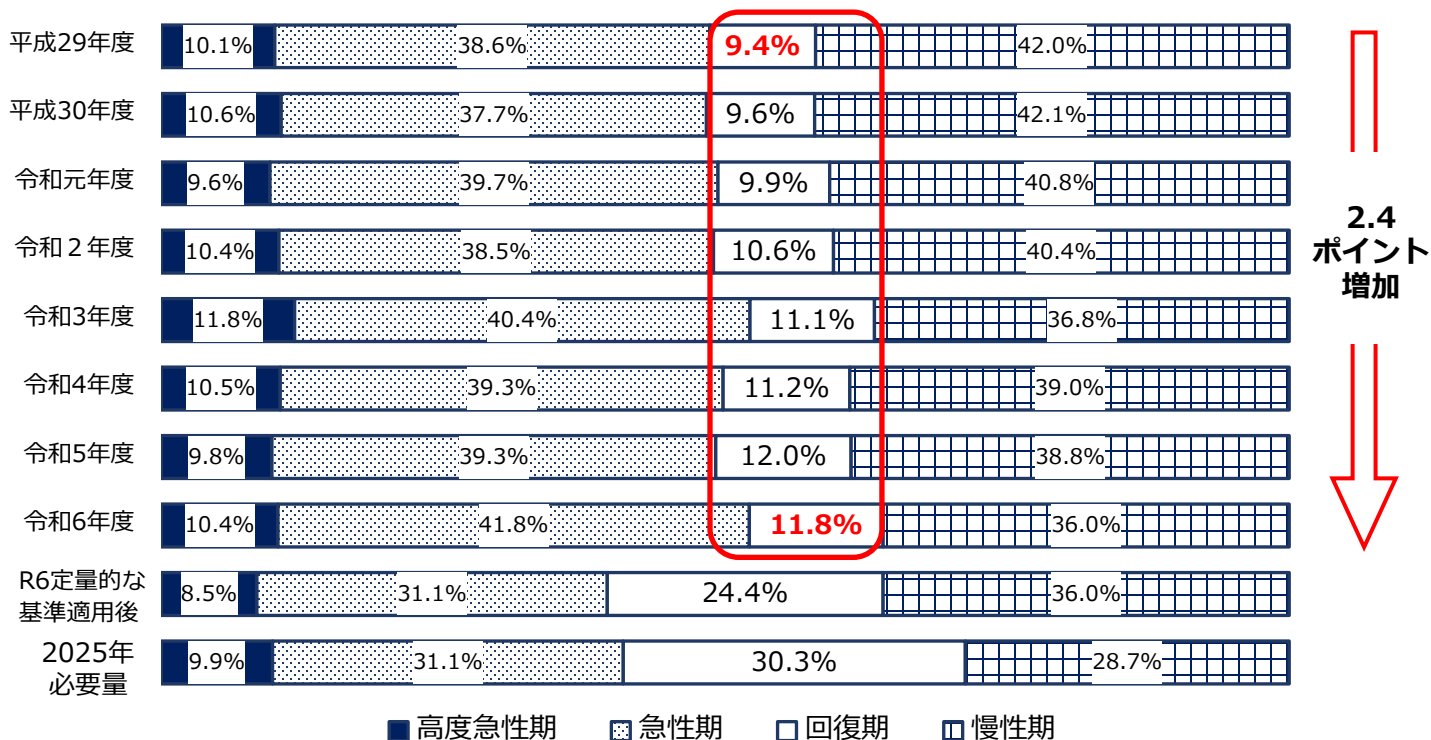
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

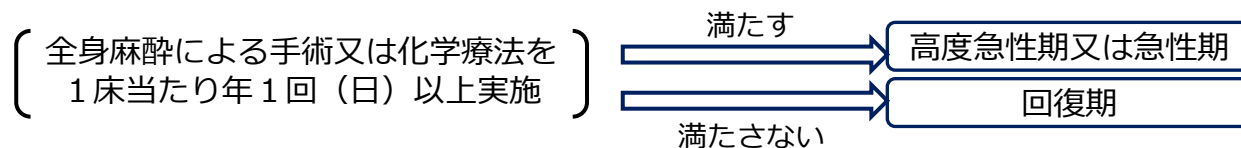
【北多摩北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和6年度では 2.4 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

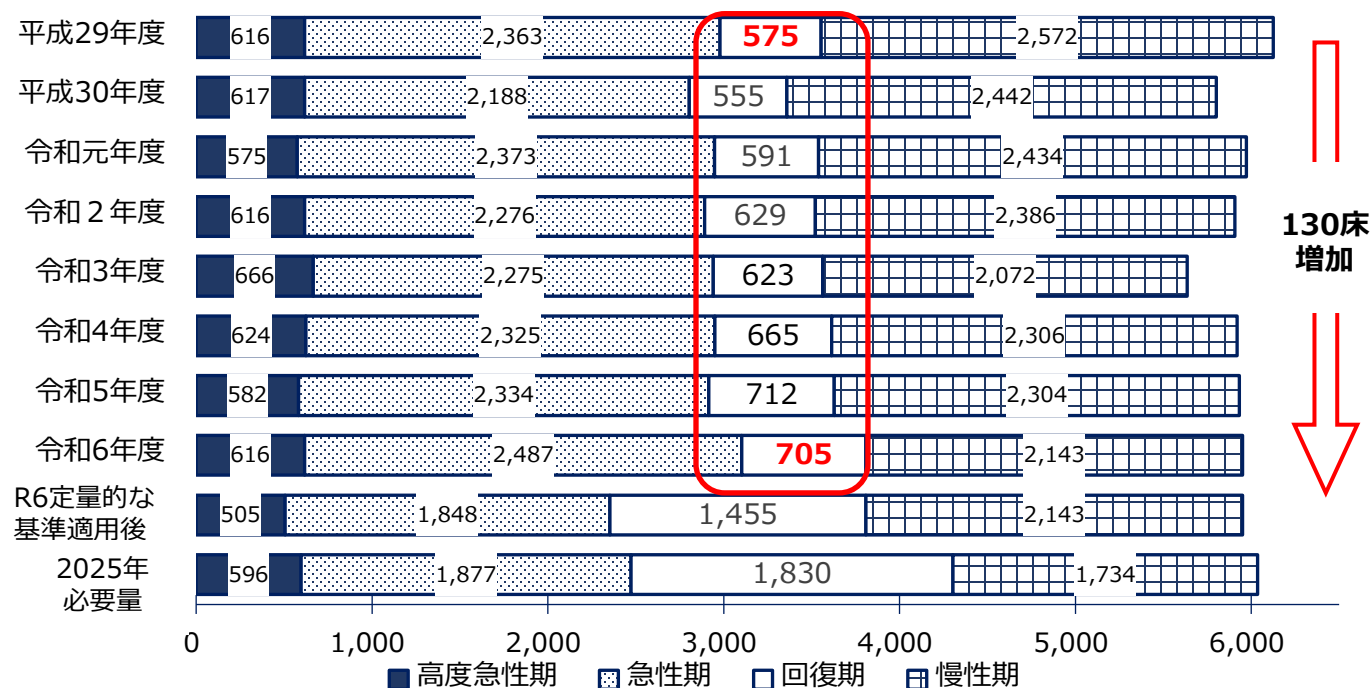


（出所）病床機能報告より作成

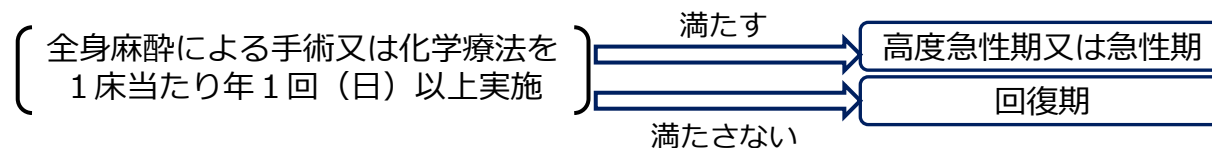
【北多摩北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和6年度では 130 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和6年度）



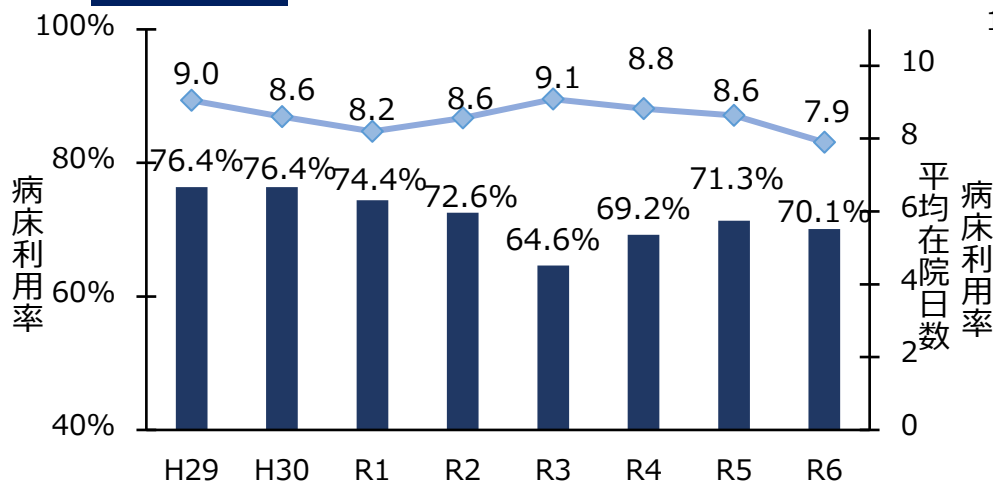
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



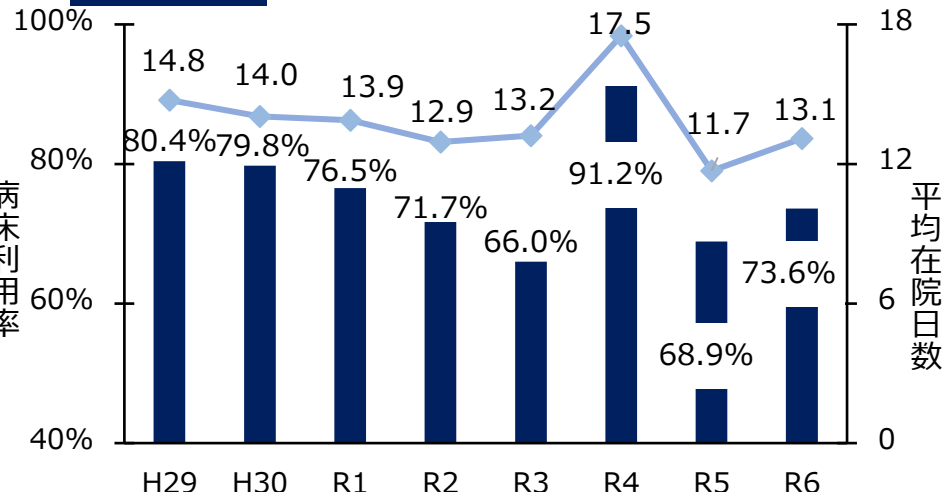
（出所）病床機能報告より作成

【北多摩北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

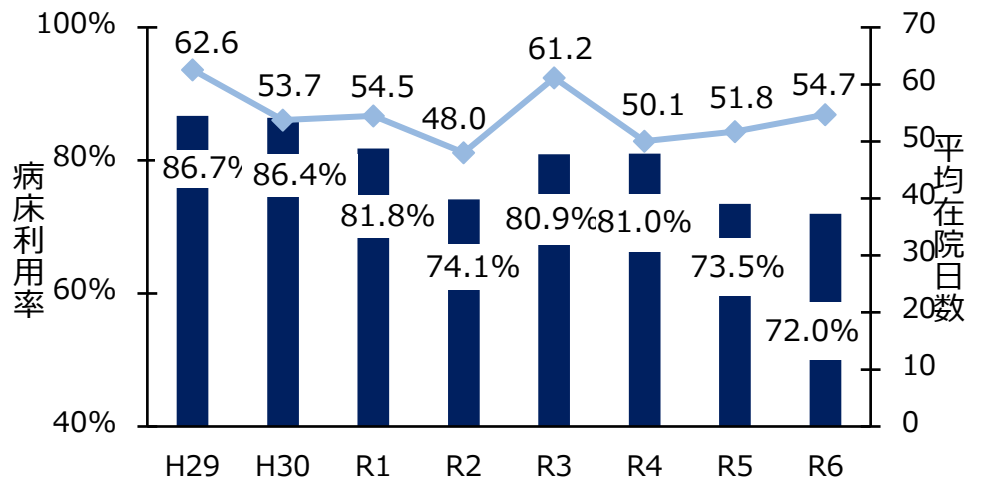
高度急性期



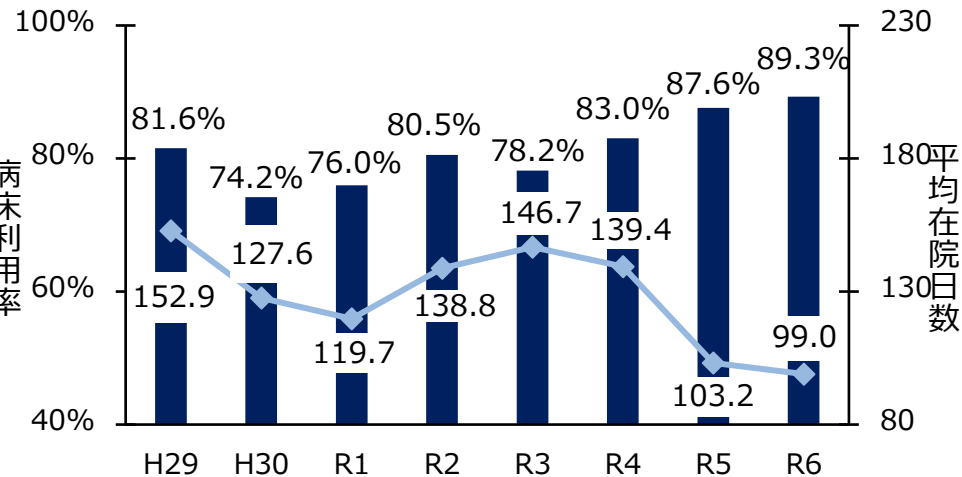
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成